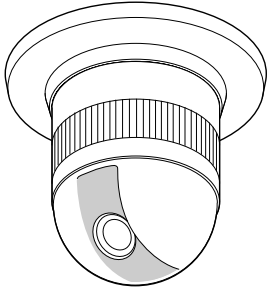


# Panasonic

## コンビネーションカメラ

## 取扱説明書

工事説明付き



品番 WV-NS320

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、コンビネーションカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

このたびは、コンビネーションカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 商品概要

本機は、1/4型CCDを搭載したカラーテレビカメラと10倍ズームレンズ、およびプリセット水平・垂直回転台を一体化したドーム型の監視カメラです。

本機はネットワーク用の10BASE-T/100BASE-TX端子(ネットワーク端子)と従来のアナログ映像出力端子(BNC)を装備しており、以下の2つの方法で操作することができます。

(操作方法によって操作できる機能は異なります)

### ○PCから操作する

本機をネットワークに接続すると、PCで本機の画像を確認したり、設定メニューを操作して本機の機能を設定したりできます。

操作に必要なPCの環境は3ページをご覧ください。

**補足：**あらかじめ本機およびPCのネットワーク環境が設定されている必要があります。20ページを参照し、本機およびPCのネットワーク環境を設定してください。

### ○システム機器から操作する

本機にマトリクススイッチャーやフレームスイッチャーなどのシステム機器を接続し、操作します。システム機器によっては別途コントローラーが必要な場合があります。

また、本機の主な特長は次のとおりです。

- ・ネットワーク端子を使い、LAN(Local Area Network)やインターネットなどのネットワークに本機を接続することによって、ネットワーク上にあるパーソナルコンピュータ(以下PC)でカメラの画像を確認できます。<sup>※1</sup>
- ・38万画素 1/4型CCDの採用により、高解像度を実現しました。
- ・低ノイズ回路設計により、最低照度1.0 lx (F1.4) を実現しました。
- ・監視エリア内で、侵入者などの動きを感知して、アラーム信号を発報するモーションディテクター機能を搭載しています。<sup>※2</sup>

※1： PCでカメラの画像を確認する場合、PCのネットワーク環境の設定が必要です。また、インターネット用ブラウザがインストールされている必要があります。詳しくは次ページをお読みください。

※2： モーションディテクター機能は、盗難、火災などを防止するための専用装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切、負いかねます。

## 付属品をご確認ください

飾りカバー .....	1	取扱説明書 .....	1
8Pアラームケーブル .....	1	CD-ROM .....	1
4Pアラームケーブル .....	1	保証書 .....	1
RJ-45メス-メス変換コネクタ .....	1	ラベル (MACアドレス) .....	1
接点保護シート .....	1		

## 本書について

本機の操作はパーソナルコンピュータ（以下、PC）またはマトリクススイッチャーやフレームスイッチャーなどのシステム機器から行うことができます。

システム機器によっては別途、コントローラーが必要な場合もあります。

本書は、PCからの操作とシステム機器からの操作をそれぞれ分けて記載しています。

該当する機器の説明をお読みにになり、本機をご使用ください。

また、本機の設置、システム機器との接続のしかたについては、「工事編」にまとめて記載しています。

PDFマニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAcrobat Readerが必要です。PCにAcrobat Readerがインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAcrobat Readerをダウンロードし、インストールしてください。

## 必要なPCの環境

本機の設定や操作をPCから行う場合、以下のシステム環境を持つPCが必要です。

OS	: Microsoft® Windows®98 Second Edition Microsoft® Windows®2000 Professional ServicePack2 Microsoft® Windows®Me Microsoft® Windows®XP Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 ServicePack6a
コンピュータ	: PC/AT互換機
CPU	: Pentium®II（300 MHz）以上
メモリ	: 128MB以上
画面	: True color 24ビット以上
インターフェース	: 10/100MbpsのEthernet®カードが内蔵されていること
対応しているネットワークプロトコル	: TCP/IP、UDP/IP、HTTP、FTP、SMTP、DNS、DDNS、DHCP、BOOTP、NTP
ブラウザ	: Internet Explorer 5.01SP2、5.5、5.5SP2、6.0 Netscape Communicator® 4.73、4.78（注）

（注）Netscape Communicator® 4.73より前のバージョンをご使用の場合  
Netscape Communicator® 4.73より前のものからバージョンアップして使用すると、一部の機能が動作しません。バージョンアップを行うときは、先にNetscape フォルダ（Netscapeフォルダの下の階層にあるデータすべて）を削除し、バージョンアップを行ってください。Netscapeフォルダを削除すると、メール情報やブックマークなど設定データはすべて削除されます。必要なデータはバックアップを取っておいてください。

## 商標および登録商標について

- Adobe、Adobeロゴ、およびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NT、WindowsXPは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape、Netscape Navigator、Netscape ONE、Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。（一部の国では、登録商標となっています。）
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版をWindows98 SEと表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 Professional ServicePack2 日本語版をWindows2000と表記しています。

Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版をWindows Meと表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 ServicePack6a 日本語版をWindows NTと表記しています。

Microsoft® Windows® XP 日本語版をWindows XPと表記しています。

# もくじ

## はじめに

商品概要	2
付属品をご確認ください.	2
本書について	3
必要なPCの環境	3
商標および登録商標について	4
略称について	4
安全上のご注意	9
使用上のお願い	11
各部のなまえ	13

## PCから 操作する ＜準備＞

接続する	16
PCと本機を直接接続する（接続タイプ1）	16
イントラネットに接続する（接続タイプ2）	17
インターネット経由で接続する（接続タイプ3, 4）	18
ネットワーク設定を行う	20
設定を行う前の準備	20
PCのネットワーク設定を行う	21
本機のネットワーク設定を行う	25
IP簡単設定ソフトウェアを使って設定を行う	25
ネットワーク経由で設定メニューから設定を行う	28
表示用プラグインソフトウェアをインストールする	35

## PCから 操作する ＜操作＞

画像を見る	36
1台のカメラ画像を見る	36
複数台のカメラ画像を見る	40
プリセット位置のカメラ画像を見る	44
オートパンの動作を行う	48
今見ている画像をPCに保存する	51

# もくじ

<b>アラーム機能を使用する</b> .....	<b>52</b>
アラーム発生時の動作について .....	52
モーションディテクター機能について .....	54
アラーム発生時の動作を設定する .....	55
保存された画像を見る .....	59
アラームメールの内容をカスタマイズする .....	61
<b>画像をサーバーに転送する</b> .....	<b>62</b>
画像を転送するための準備 .....	62
指定した時間間隔で定期的に画像を転送する .....	64
アラーム発生時に画像を転送する .....	65
<b>外部機器を制御する</b> .....	<b>66</b>
<b>認証機能を使用する</b> .....	<b>67</b>
認証について .....	67
本機に装備されているセキュリティ機能について .....	67
セキュリティ強化のために .....	68
ユーザ認証を設定する .....	69
ホスト認証を設定する .....	72
<b>システムに関する設定を行う</b> .....	<b>74</b>
<b>PCからカメラ設定 (SET UP MENU) を操作する</b> ..	<b>77</b>

## システム機器 から操作する

<b>SET UP MENUについて</b> .....	<b>81</b>
SET UP MENU一覧 .....	81
SET UP MENUのメニュー構成 .....	83
SET UP MENUの画面表示について .....	84
SET UP MENUの表示のしかた .....	84
システム機器別の操作のしかた .....	85

---

<b>プリセットポジションの設定</b> .....	<b>86</b>
プリセット番号を直接指定して設定する [PRESET] ....	86
ポジション選択メニューからプリセット番号を指定して設定する [MAP] ..	86
<b>ホームポジションの設定</b> .....	<b>91</b>
<b>オートモードの設定 [AUTO MODE]</b> .....	<b>92</b>
オートパンの詳細内容を設定する .....	92
<b>スワローターン機能の設定 [SWALLOW TURN]</b> ..	<b>94</b>
<b>クリーニング機能の設定 [CLEANING]</b> .....	<b>95</b>
<b>イメージホールドの設定 [IMAGE HOLD]</b> ....	<b>96</b>
<b>カメラ機能の設定 [CAMERA]</b> .....	<b>97</b>
カメラIDを設定する [CAMERA ID] .....	97
レンズ絞り方法を設定する [ALC/MANUAL] .....	97
電子シャッター速度を設定する [SHUTTER] .....	97
ゲイン調節方法を設定する [AGC] .....	97
同期方式を設定する [SYNC] .....	98
ホワイトバランスの調節方法を設定する [WHITE BAL] ...	99
オートフォーカスの動作モードを設定する [AF MODE] ...	99
電子ズーム機能を設定する [EL-ZOOM] .....	100
電子感度アップを設定する [SENS UP] .....	100
モーションディテクター機能を設定する [MOTION DET] ..	100
カメラの画質を調節する [SPECIAL] .....	102
<b>ネットワーク機能の設定 [NETWORK]</b> .....	<b>104</b>
IPアドレスを設定する [IP ADDRESS] .....	104
サブネットマスクを設定する [NET MASK] .....	105
ゲートウェイアドレスを設定する [GATE WAY] .....	105
HTTPポート番号を設定する [HTTP PORT NO.] ....	105
DHCP機能を設定する [DHCP] .....	105

# もくじ

---

## 工事

設置上のお願い.....	107
カメラを設置する.....	109
本機と飾りカバーを加工する（線材を側面から引き出す場合） ....	109
カメラを取り付ける .....	109
システム機器と接続する.....	112

---

## その他

ショートカット操作について.....	115
仕様.....	117
保証とアフターサービス.....	119

---





# 安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 異物を入れない



水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 回転動作中は本体部に手を触れない



回転部に指をはさみ、けがの原因となります。

禁止

- ドームカバーは付けた状態で使用してください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

## 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

## 重量に耐える場所に取り付ける



取付場所の強度が不十分だと、落下や転倒などで、けがの原因となります。

## 専用の取付金具を使用する



落下によるけがの原因となります。

- 設置の際は、必ず専用の取付金具を使用してください。

## 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

## ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

## 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

## 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

( 傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない )



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

## ⚠ 警告

コンセントや配線器具の定格を越える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を越えると発熱による火災の原因となります。

## ⚠ 注意

お手入れのときはカメラ本体の電源を切る



回転部に指をはさみ、けがの原因となります。

定期的に点検する



取付部が劣化すると、落下などでけがの原因となります。

●点検は販売店に依頼してください。

## 使用上のお願い

- カメラのクリーニングについて  
長期間使用しているとモニターにノイズが入ったり、プリセットポジションがずれてくることがあります。  
カメラのクリーニング機能（95ページ）を使用してもこのような状態になるときは、カメラ特別メニューの“REFRESH”（103ページ）を実行してください。  
また、カメラクリーニング機能をもったマトリクススイッチャー（WJ-SX550C、WJ-SX777B）をお使いの場合は、マトリクススイッチャー側で“オートクリーニング”の設定を行い、1日1回のクリーニングを実行するようにしてください。
- プリセットデータのダウンロード、アップロードについて  
コントローラーにカメラのプリセットデータをダウンロードするとき、およびダウンロードしたデータをカメラにアップロード

するときは、次の機能を“OFF”にしてください。“ON”の状態ダウンロード、アップロードを実行すると、正常に動作完了しないことがあります。

- ・アラーム機能（52ページ）
- ・クリーニング機能（95ページ）
- ・モーションディテクター機能（54ページ）
- ・オートモード（92ページ）
- ・ホームポジションのSELF RETURN（91ページ）

その他、できるだけ画面の動きの少ない方向（壁など）を撮影してください。

**重要！**：他機種のプリセットデータを本機にアップロードすることはできません。また、本機のデータを他機種にアップロードすることもできません。

# 使用上のお願い

●長時間安定した性能でお使いいただくために  
高温・高湿で長時間連続使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。  
(推奨温度40℃以下)  
設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

●ちゅう房など蒸気や油分の多いところでの使用は避けてください

●ドームカバーを直接触れないでください  
カバーが汚れると画質劣化の原因となります。

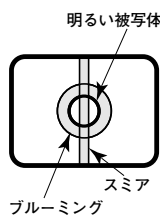
●本機は吊り下げ専用です  
据え置きで使用しないでください。故障の原因になります。



●CCD色フィルターの焼き付きについて  
画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

●強い光にカメラを向けないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング（強い光の周りかじむ現象）、スミア（強い光の上下に縦縞が発生する現象）を生じることがあります。



●取り扱いがていねいに  
落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。



●水をかけないでください  
本機の防水性はJIS保護等級で防滴Ⅱレベルです。直接水をかけないでください。

●本機に電源スイッチはありません  
電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入ります。お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●使用中、画面に「OVER HEAT」と表示されたときは  
冷却ファンの故障などにより、カメラ内部が異常に高温になっています。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店へご連絡ください。

●消耗品について  
次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境、使用条件により変わります。消耗品の交換は、保証期間内であっても有料となります。

- ・レンズ部 : 約370万動作 (約20,000時間)
- ・スリップリング : 約240万動作 (約20,000時間)
- ・冷却ファン : 約50,000時間
- ・パン・チルトモーター : 約216万動作 (約19,000時間)

●ドームカバー内が結露したときは  
ドームカバーを外して、水分を柔らかい布でふき取ってください。

●お手入れは  
電源を切って乾いた布で拭いてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、よく絞り軽くふいてください。

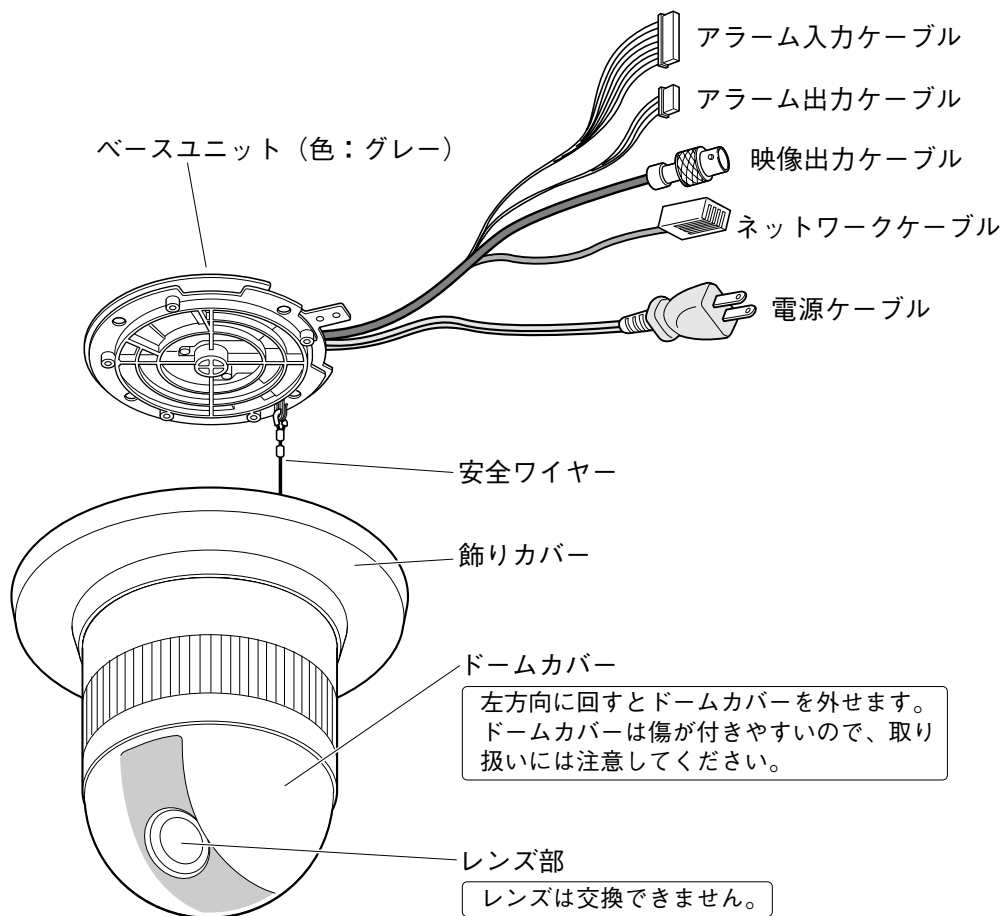


レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラの清掃に使うもの）で行ってください。



ドームカバーは特に傷が付きやすいので、柔らかい布で軽くふいてください。

# 各部のなまえ



## 常に最良の状態でお使いいただくために

- 本機は「スリップリング」と呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、パン（水平回転）操作時に画質の劣化やノイズが発生することがあります。  
常に最良の状態を保つために、クリーニング機能（95ページ）を「ON」にしてお使いください。
- スリップリングのクリーニングを行っても画質の劣化やノイズを解消できないときは、スリップリングの寿命が考えられますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。



# PCから操作する

---

ここでは、PCから本機を操作する方法について説明しています。

本機をネットワークに接続して、PCで本機の画像を確認したり、設定メニューを操作して本機の機能を設定します。

# 接続する

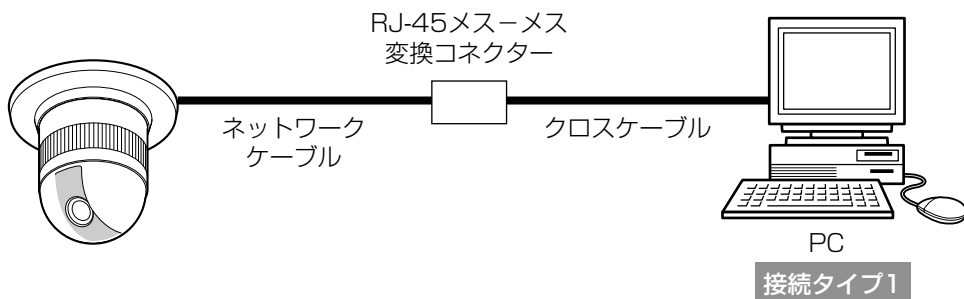
本機とPCを接続します。各機器を接続する前に、まず接続タイプを確認します。どの接続タイプで接続するのか確認してください。

接続を始める前に、接続タイプ別に必要なハードウェアやケーブルを確認し、準備してください。

**重要！**：本機、ADSL/ケーブルモデム、スイッチングハブ、PCなどネットワーク接続する機器の電源をすべてOFFにするか、電源プラグを電源コンセントから抜いてから接続してください。本機のネットワークアドレスを設定する場合は接続タイプ1または2で接続して、設定することをお勧めします。

## PCと本機を直接接続する（接続タイプ1）

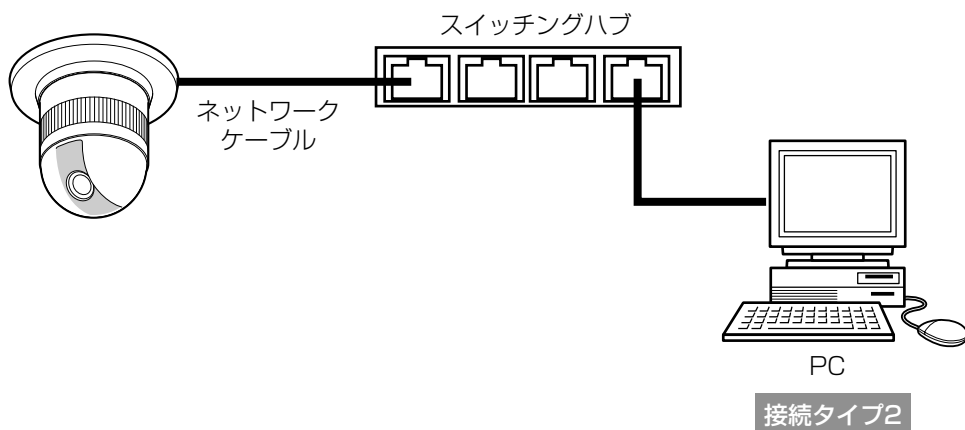
本機とPCを直接カメラのネットワークケーブルで接続します。





## イントラネットに接続する（接続タイプ2）

本機とPCをスイッチングハブ経由で接続します。本機とハブとはカメラのネットワークケーブルで接続します。イントラネットには、ハブ経由で接続します。



<必要なハードウェア>

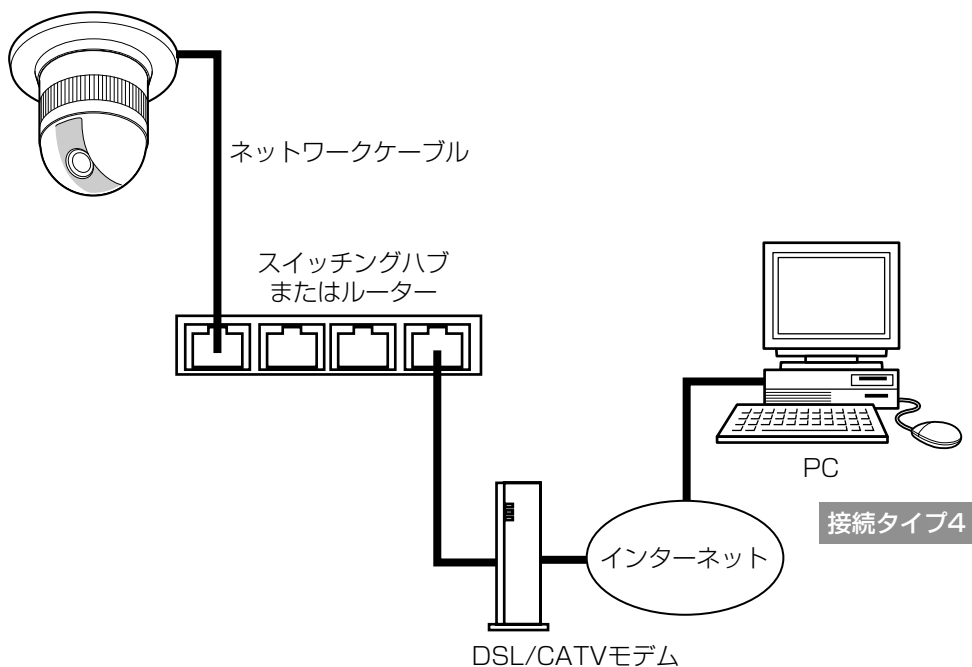
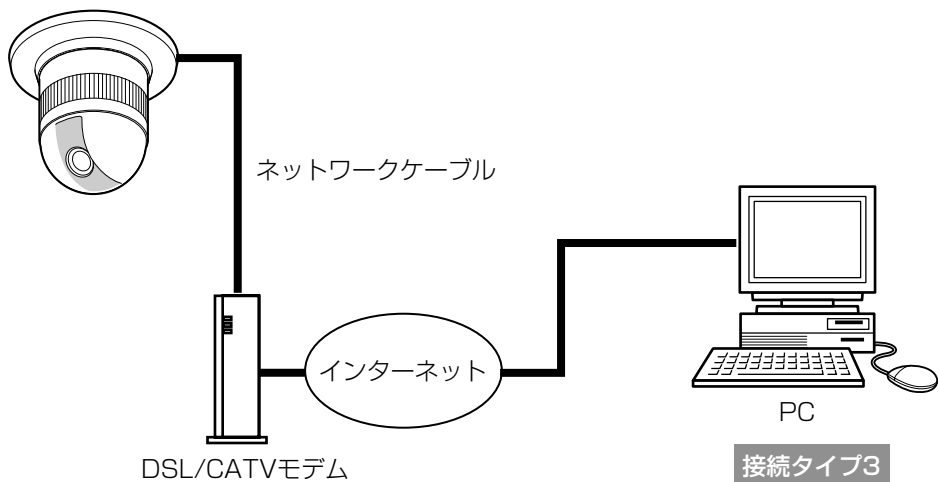
Ethernetスイッチングハブ

**重要！**：ハブまたはルーターは10BASE-T/100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターをご使用ください。

# 接続する

## インターネット経由で接続する（接続タイプ3, 4）

インターネットに接続されているPCから本機にアクセスします。



本機はPPPoEに対応しておりません。  
PPPoE接続する場合は、PPPoE対応のルーターを使用してください。  
インターネット経由で接続する場合、グローバルIPアドレスを別途取得する必要があります。

---

<必要なハードウェア>

- CATVモデム(ケーブルモデム)またはDSLモデム
- Ethernetスイッチングハブまたはルーター

**重要!**

- ハブまたはルーターは10BASE-T/100BASE-TX対応のスイッチングハブまたはルーターをご使用ください。
- 複数のカメラを利用するためには、ルーターの設定が必要です。ルーターの設定についてはルーターの取扱説明書をお読みください。

# ネットワーク設定を行う

接続が完了したら、PCと本機のネットワーク設定を行います。必要に応じて、ネットワーク機能を設定します。

本機をLANやインターネットなどのネットワークに接続し、ネットワークに接続されたPCから本機を操作できるようにするには、ネットワークに関する設定を行う必要があります。

## 設定を行う前の準備

ネットワーク設定を行う前に以下の準備を行います。

### STEP 1

本機とカメラを接続タイプ1、2（16、17ページ）のいずれかの方法で接続します。

### STEP 2

本機の電源ケーブルをコンセントに差し込みます。電源が供給されます。

### 補足

- ・本機をネットワークに接続することによって以下の機能が使用できるようになります。
  - ・ネットワーク(ネットワークに接続するための設定)
  - ・動作モード(配信画像の画質を設定)
  - ・アラーム(アラーム機能を使用する場合に設定)
  - ・FTPクライアント(撮影した画像をFTPサーバーに転送する場合に設定)
  - ・ユーザ(ユーザ認証を行う場合に設定)
  - ・ホスト(ホスト認証を行う場合に設定)
  - ・システム(時刻の設定)
  - ・多画面表示 (マルチスクリーンの設定)
  - ・カメラのプリセット／オートパンの設定
  - ・カメラのパン・チルトなどのカメラの操作、設定
- ・本機のネットワークアドレスを設定するときは、イントラネットに接続されていない状態で行ってください。

## PCのネットワーク設定を行う

まず、PCのネットワーク設定を行います。PCのTCP/IPの設定を本機の工場出荷時の状態に合わせて変更します。

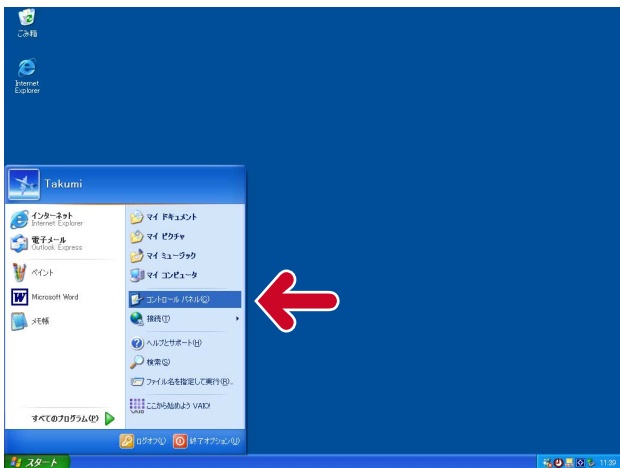
工場出荷時、本機のネットワーク設定は以下のようになっています。

- ・ IPアドレス                                 : 192.168.0.10
- ・ サブネットマスク                       : 255.255.255.0
- ・ デフォルトゲートウェイ               : 192.168.0.1

本機にアクセスするには、PCのIPアドレスを「192.168.0.XX (XXは1と10を除く2～254のうちいずれか)」に設定する必要があります。

本書では、Windows XPの標準設定を例に設定方法を説明します。その他のOSをご使用の場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

画面1

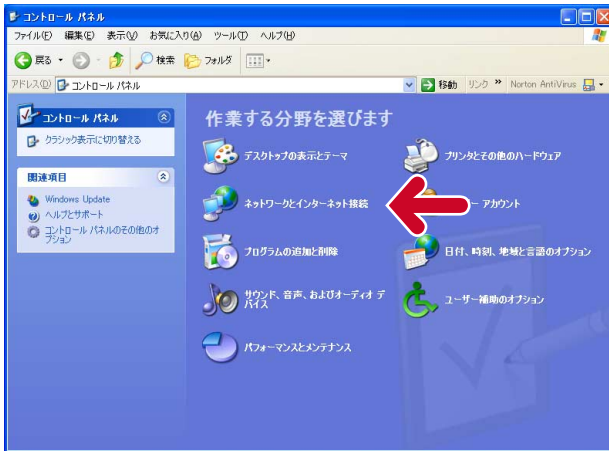


**STEP1**

[スタート] - [コントロールパネル] を選択します。

# ネットワーク設定を行う

## 画面2

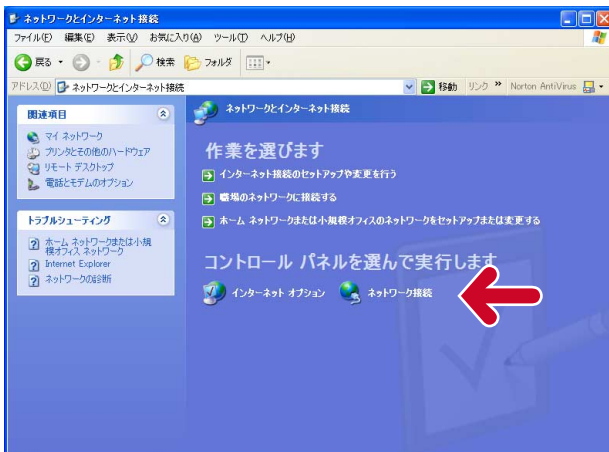


## STEP2

[ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

## 画面3

インターネット接続画面が表示されます。



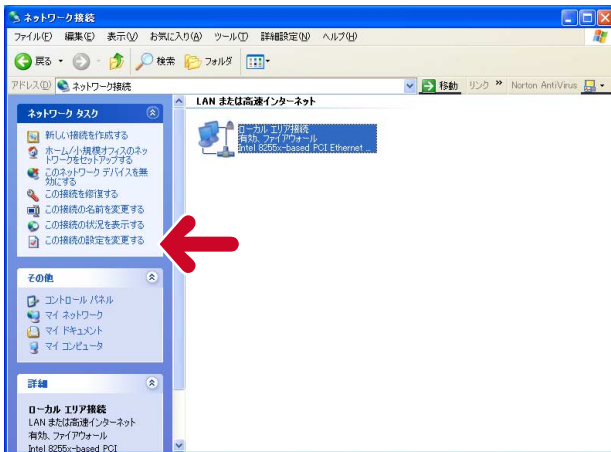
## STEP3

[ネットワーク接続] をクリックします。

PCから操作する\*準備

**画面4**

ネットワーク接続画面が表示されます。

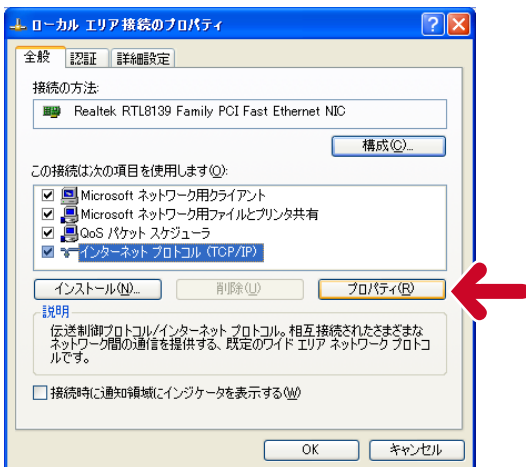


**STEP4**

[ローカルエリア接続] をクリックし、  
[ネットワークタスク] の [この接続  
の設定を変更する] をクリックします。

**画面5**

ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。



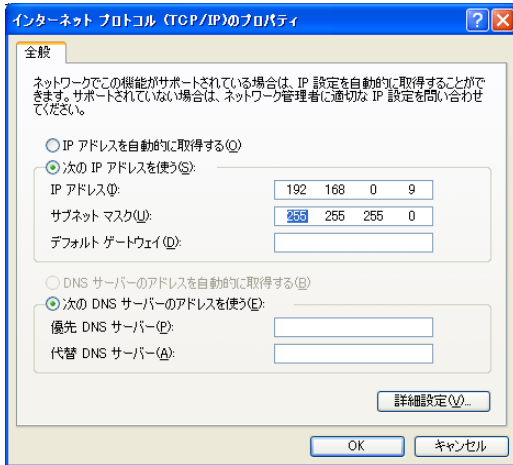
**STEP5**

[インターネットプロトコル  
(TCP/IP)] をクリックし、[プロパ  
ティ] ボタンをクリックします。

# ネットワーク設定を行う

## 画面6

インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ画面が表示されます。



## STEP6

[次のIPアドレスを使う] をクリックし、[IPアドレス] と [サブネットマスク] を以下のように設定します。

- ・ IPアドレス : 192.168.0.9
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.0

## STEP7

[OK] ボタンをクリックし、画面を閉じます。



---

## 本機のネットワーク設定を行う

PCのネットワーク設定が終了したら、次に本機のネットワーク設定を行います。本機を複数台設定している場合は、カメラごとに行う必要があります。

本機のネットワークに関する設定は、付属のIP簡単設定ソフトウェア（以下、簡単設定ソフト）を使って行うことができます。

簡単設定ソフトを使って、設定できない場合は、個別に本機とPCの設定を行います。詳しくは28ページをお読みください。

また、本機のネットワーク設定を行うには、以下の情報(IPアドレス)が必要になります。ネットワーク管理者やインターネットサービスプロバイダーに確認してください。

- ・ IPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ ポート番号
- ・ デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- ・ DNS用プライマリサーバー、セカンダリサーバー（DNSを使用する場合）

**補足：** DHCPサーバーを使用する場合、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの情報はDHCPサーバーから取得できます。

また、DNSの設定を「自動」にしている場合は、DNS用プライマリサーバー、セカンダリサーバーの情報もDHCPサーバーから取得できます。

## IP簡単設定ソフトウェアを使って設定を行う

本機に付属されているCD-ROM内の簡単設定ソフトを使って、本機のネットワークに関する設定を行います。

### STEP1

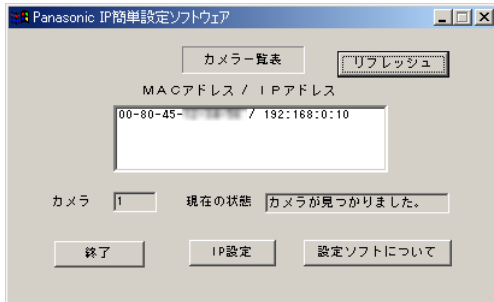
付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブに挿入し、IP Setup.exeをダブルクリックします。

# ネットワーク設定を行う

## 画面1

簡単設定ソフトが起動します。

接続されているカメラのMAC アドレスとIPアドレスが表示されます。(表示されない場合は、[リフレッシュ] ボタンをクリックしてください。)



## STEP2

設定するカメラのMACアドレス/IPアドレスをクリックします。

## STEP3

[IP設定] ボタンをクリックします。

## 補足

- 本機が複数台接続されているときは、接続されているすべてのカメラのMACアドレスとIPアドレスが表示されます。
- 簡単設定ソフトで認識できるカメラは、同じサブネット内にあるカメラのみです。
- [リフレッシュ] ボタンをクリックすると、同一サブネット内にあるカメラの最新情報 (MACアドレス/IPアドレス) を確認できます。

## 画面2

設定画面が表示されます。

IPアドレス 192 . 168 . 0 . 10  
サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0  
デフォルトゲートウェイ 192 . 168 . 0 . 1  
HTTPポート番号 80  
DHCP  
 使用する  使用しない  
DNS  
 使用する  使用しない  自動  
プライマリサーバアドレス 0 . 0 . 0 . 0  
セカンダリサーバアドレス 0 . 0 . 0 . 0  
リセット 設定 キャンセル

**重要！**：[設定] ボタンをクリック後、本機の設定が完了するまで約10秒かかります。設定が完了する前に、ACアダプターやネットワークケーブルを抜くと、本機に設定できなくなります。

### STEP4

ネットワークの各項目を設定します。

[IPアドレス]  
[サブネットマスク]  
[デフォルトゲートウェイ]  
[HTTPポート番号]

使用環境に応じて設定値を入力してください。設定値がわからない場合は、32、33ページをお読みください。

[DHCP] [DNS]  
DHCPクライアント機能、DNS機能を使用する場合は、「使用する」にチェックを入れます。  
DHCPサーバーからDNSサーバーのプライマリ/セカンダリサーバーのアドレスを自動取得する場合は、「自動」にチェックを入れます。  
DNS機能を使用する場合は、DNSサーバーのプライマリ/セカンダリのアドレスを入力してください。

### 補足

- DHCPサーバーが存在しないにもかかわらずDHCPを「使用する」に設定した場合は、簡単設定ソフトで「使用しない」に設定し直し、IPアドレスなどの設定を再度行ってください。
- DHCPを「使用する」に設定した場合、DHCPサーバーからIPアドレスを取得するまでIPアドレスの表示が「0.0.0.0」になります。取得後、カメラのIPアドレスが表示されます。

### STEP5

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

# ネットワーク設定を行う

## ネットワーク経由で設定メニューから設定を行う

簡単設定ソフトを使用せずに、本機のネットワーク設定を設定メニューから行います。本機を複数台設定する場合は、各ネットワークカメラごとに行う必要があります。

本機のネットワーク設定を設定メニューから行うには、以下の情報が必要になります。ネットワーク管理者やインターネットサービスプロバイダーに確認してください。

- ・IPアドレス
- ・サブネットマスク
- ・ポート番号
- ・デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- ・DNS用プライマリサーバー、セカンダリサーバー（DNSを使用する場合）

**重要！**：ネットワーク経由での設定メニューからの設定は、接続タイプ1、2の場合のみ行うことができます。

### 画面1

PCを起動した直後の画面から始めます。



### STEP1

デスクトップ上などにあるInternet Explorerのアイコンをダブルクリックし、ブラウザを起動します。

**画面2**

ブラウザが起動し、設定されているホームページが表示されます。

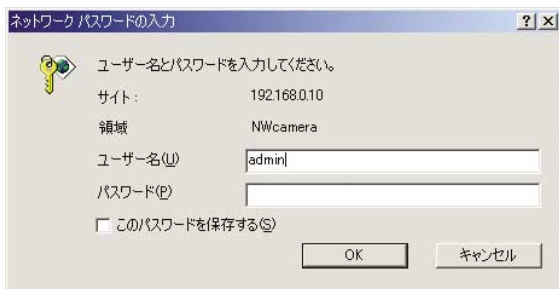


**STEP2**

工場出荷時、本機に設定してあるIPアドレス「192.168.0.10」を[アドレス]ボックスに入力し、ENTERキーを押します。

**画面3**

認証ウィンドウが表示されます。ユーザ認証機能を「使用しない」（お買い上げ時の状態）に設定されている場合、このウィンドウは表示されません。



**STEP3**

本機に登録されているユーザ名とパスワードを入力します。

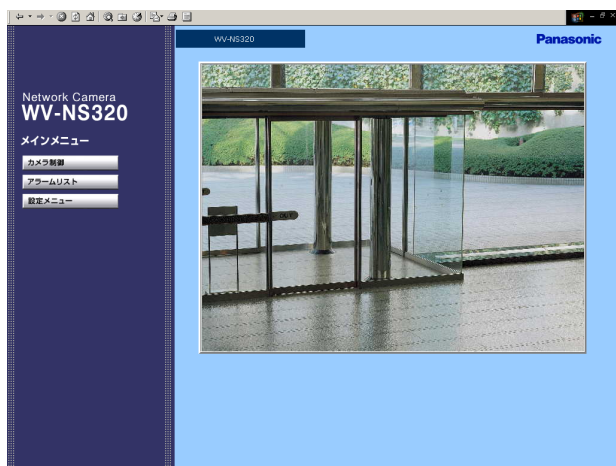
**補足**

- 設定を行う場合、管理者(レベル1)のユーザでログインしてください。管理者以外のユーザでログインすると、[設定メニュー]または[カメラ制御]ボタンをクリックしたとき、再度認証ウィンドウが表示されます。このときは、管理者のユーザ名、パスワードで再認証を行ってください。
- お買い上げ時、管理者（レベル1）ユーザとして、ユーザ名：admin、パスワードなしが登録されています。

# ネットワーク設定を行う

## 画面4

トップページが表示されます



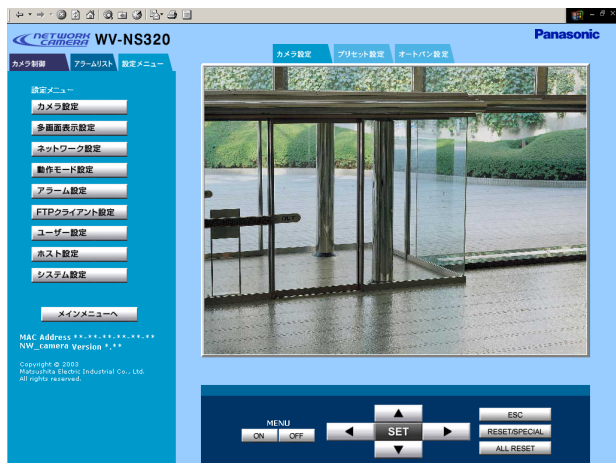
## STEP4

[設定メニュー]ボタンをクリックします。

補足：設定によっては認証ウィンドウが表示されます。

## 画面5

カメラ設定ページが表示されます



## STEP5

[ネットワーク設定]ボタンをクリックします。

## 画面6

ネットワーク設定ページが表示されます。



### STEP6

ネットワーク設定の各項目を設定します。

設定する内容は接続タイプによって異なります。詳細は次ページをお読みください。

### STEP7

設定したら、「設定&再起動」ボタンをクリックします。このボタンをクリックせずにウェブブラウザを終了すると、設定内容はすべて無効になります。

### 補足

- 再起動時、カメラ画像を表示しているPCの画像が停止します。
- 再起動後にページを切り換えるときは、再起動が完了してから行ってください。再起動には約10秒かかります。

# ネットワーク設定を行う

## 接続タイプ別のネットワーク設定項目について

設定項目	接続タイプ	設定内容
IPアドレス	接続タイプ1	「192.168.0.XX (XXは1とPCに設定されているIPアドレスを除く、2~254の10進数)」を設定してください。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したIPアドレスを設定してください。ただし、PCや他のカメラに設定したIPアドレスと同じIPアドレスは設定できません。 イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。
	接続タイプ3*	プロバイダーが指定したIPアドレスを設定してください。
	接続タイプ4*	ルーターの設定により以下ようになります。 ルーターのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ルーターのDHCP機能を使用しない場合：プライベートIPアドレスを設定。ただし、PCや他のカメラに設定したIPアドレスと同じIPアドレスは設定できません。 詳しくはルーターの取扱説明書をお読みください。
サブネットマスク	接続タイプ1	工場出荷時に設定されている「255.255.255.0」のまま使用します。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したサブネットマスクを設定してください。 ただし、イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。
	接続タイプ3	プロバイダーが指定したサブネットマスクを設定してください。
	接続タイプ4	ルーターの設定により以下ようになります。 ルーターのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ルーターのDHCP機能を使用しない場合：ルーターのサブネットマスクを設定 詳しくはルーターの取扱説明書をお読みください。

\*インターネット経由でカメラにアクセスする場合、固定IPアドレスを設定してください。



設定項目	接続タイプ	設定内容
デフォルト	接続タイプ1	設定する必要はありません。
ゲートウェイ	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したデフォルトゲートウェイアドレスを設定してください。 ただし、イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。 DHCP機能を使用してつながらないときは、管理者にお問い合わせください。
	接続タイプ3	プロバイダーが指定したデフォルトゲートウェイアドレスを設定してください。
	接続タイプ4	ルーターの設定により、つぎのようになります。 ルーターのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ルーターのDHCP機能を使用しない場合：ルーターのIPアドレスを設定 詳しくはルーターの取扱説明書をお読みください。
ホスト名	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者に確認し、必要であれば指定されたホスト名を設定します。
	接続タイプ3、4	プロバイダに確認し、必要であれば指定されたホスト名を設定します。
通信速度	全接続タイプ共通	データの通信速度を設定します。工場出荷時に設定されている「自動設定」のままにしておいてください。 設定できる値：自動設定、100Mbps（全二重）、100Mbps（半二重）、10Mbps（全二重）、10Mbps（半二重）
HTTPポート番号	接続タイプ1, 2, 3	工場出荷時に設定されている「80」のまま使用します。
	接続タイプ4	本機を複数台使用する場合、個別に設定する必要があります。ただし、同じネットワークに接続している機器と同じポート番号は使用できません。また、以下のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。 ポート番号：20、21、23、25、53、67、68、80、546、547、 FTPサーバーに画像を転送する場合は、40000～50000、独自アラームを使用する場合は、独自アラームで使用するポート番号も使用できません。 NTP機能を使用する場合、NTPで使用するポート番号も使用できません。

# ネットワーク設定を行う

設定項目	接続タイプ	設定内容
DHCP	接続タイプ1	「OFF」に設定します。
	接続タイプ2	イントラネットのDHCP機能を使用するときは「ON」に設定します。
	接続タイプ3	「OFF」に設定します。
	接続タイプ4	ルーターのDHCP機能を使用するときは、「ON」に設定します。
DNS	接続タイプ1	「OFF」に設定します。
	接続タイプ3	DNSサーバーを使用する場合は、「ON」に設定します。
	接続タイプ2, 4	DNSサーバーを使用する場合は、「ON」に設定します。DHCP機能を使用する場合は、「AUTO」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得することができます。設定については管理者にお問い合わせください。
プライマリサーバー セカンダリサーバー	接続タイプ1 接続タイプ2, 3, 4	設定する必要はありません。 DNSサーバーを使用する場合は、DNSサーバーのIPアドレスを設定します。 DNSサーバーのIPアドレスはプロバイダーに確認してください。DNSはプライマリサーバー、セカンダリサーバーが設定できます。
DDNS	接続タイプ1	「OFF」に設定します。
	接続タイプ2	DDNSサービスを利用するにはお客様自身でサーバーを構築する必要があります。
	接続タイプ3, 4	DDNSサービスを利用する場合は「ON」に設定します。
ホスト名	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2, 3, 4	DDNSサーバーに登録されている（アクセスするための）ホスト名を記入します。
ユーザー名	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2, 3, 4	DDNSサーバーに登録されている（アクセスするための）ユーザー名を記入します。
パスワード	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2, 3, 4	DDNSサーバーに登録されているパスワード（アクセスするための）を記入します。
アクセス間隔	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2, 3, 4	DDNSサーバーにIPアドレスを通知する（アクセスする）間隔を設定します。

**補足：** DHCPサーバーが存在しない環境で誤ってDHCP機能を「ON」にしたときは、IP簡単設定ソフトウェアを使用して再度ネットワーク設定を行ってください。

# 表示用プラグインソフトウェアをインストールする

動作モード設定ページの「ライブ画像配信モード」を「MJPEG (IE専用)」に設定すると、ライブ画像を動画のように表示することができます。そのためには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View」をインストールする必要があります。

付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブに挿入し、CD-ROM内にある「Setup.exe」をダブルクリックします。インストーラーが起動するので、画面の指示に従ってインストールします。

## 補足

- ・表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View」はInternet Explorer専用です。その他のブラウザでは使用できません。
- ・PCの画面設定はTrue color 24ビット以上に設定してください。

アンインストールする場合は、以下の手順で行います。

### <Windows XPの場合>

1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択します。  
→コントロールパネルが開きます。
2. [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。
3. 「Network Camera View」を選択し、[削除] ボタンをクリックします。
4. 以降、画面の指示に従ってアンインストールの作業を行います。

### <Windows XP以外の場合>

1. [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。  
→コントロールパネルが開きます。
2. [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。
3. 「Network Camera View」を選択し、[変更/削除] ボタンをクリックします。
4. 以降、画面の指示に従ってアンインストールの作業を行います。

# 画像を見る

ネットワークの設定が完了したら、本機が配信する画像を見ることができます。  
複数台のカメラの静止画を1つの画面（マルチスクリーン）で見することもできます。

## 1台のカメラ画像を見る

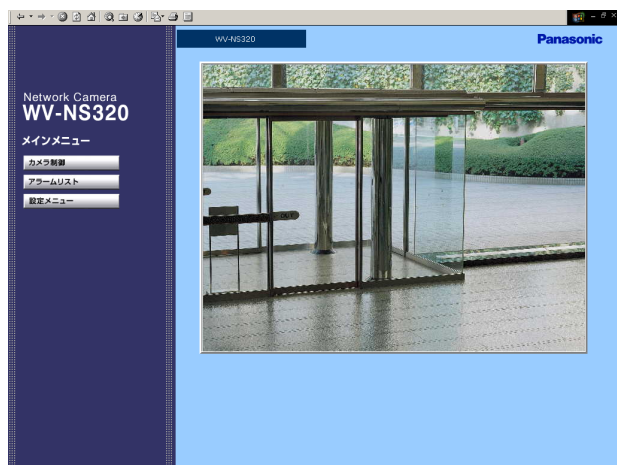
1台のカメラの画像を確認します。

### 準備

設定メニューの動作モードページで、本機が配信する画質などの設定を行います。

#### 画面1

トップページから操作します。トップページの表示のしかたは28～30ページをお読みください。



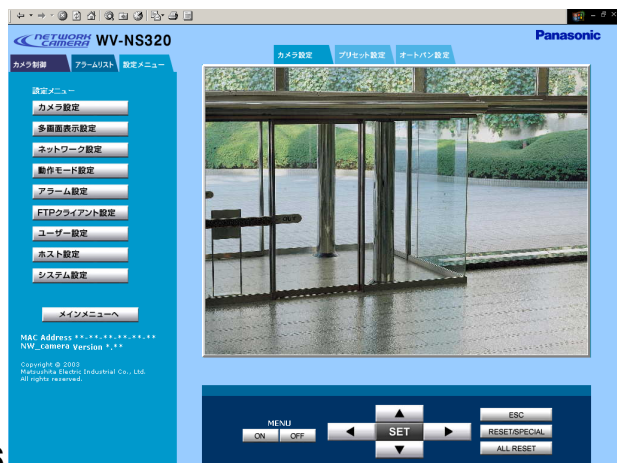
#### STEP1

[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能が「使用しない」に設定されている場合、ユーザー名に「admin」を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

#### 画面2

カメラ設定ページが表示されます。

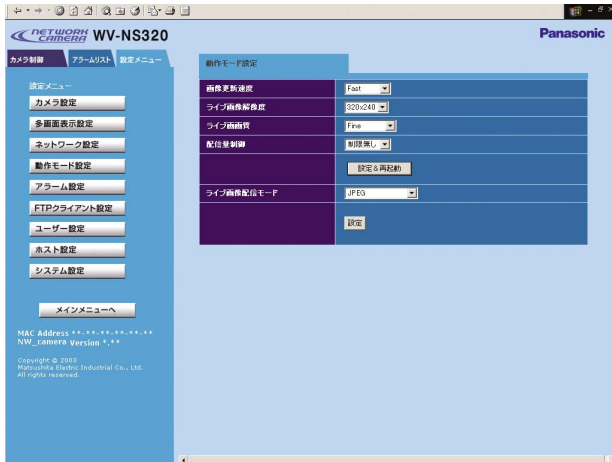


#### STEP2

[動作モード設定]ボタンをクリックします。

### 画面3

動作モード設定ページが表示されます。



### STEP3

画像に関する設定を行います。

[画像更新速度]

画像を更新する速度を以下から選択します。

Fast/Middle/Slow/Very Slow

[ライブ画像解像度]

画像の解像度を以下から選択します。

640×480/640×240（ブラウザでの表示サイズは640×480となります）/320×240/160×120

[ライブ画画質]

画質を以下から選択します。

Super Fine/Fine/Normal/Low

[配信量制御]

配信量を以下から選択します。

32Kbps/64Kbps/128Kbps/  
256Kbps/512Kbps/1 024Kbps/  
2 048Kbps/制限無し

### STEP4

設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

設定後、本機が自動的に再起動されます。再起動は約10秒で終了します。

**補足：**再起動後にページを切り換えるときは、再起動が完了してから行ってください。

(次ページへ続く)

# 画像を見る

## STEP5

[ライブ画像配信モード]  
カメラのライブ画像を配信するモードを以下から選択します。

MJPEG (IE専用) : ライブ画像を動画のように連続配信します。

JPEG : ライブ画像を画像更新速度で設定した間隔で配信します。

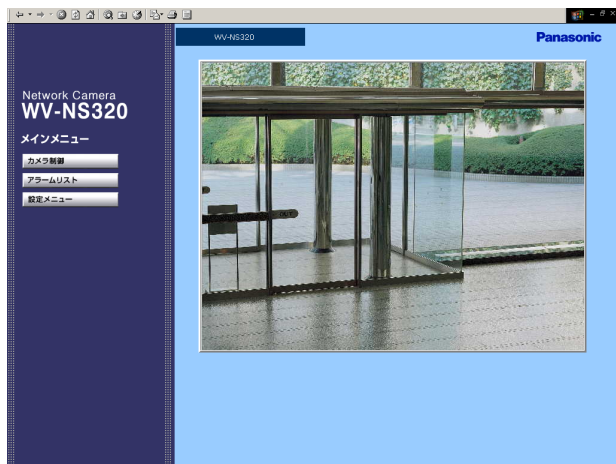
**補足** : 「MJPEG (IE 専用)」で動作させるためには、付属のCD-ROMに入っている表示用プラグインソフトウェア「NetworkCamera View」をインストールする必要があります。(→35ページ)

## 操作のしかた

再起動した後、ブラウザを起動し、本機のIPアドレスを入力してトップページを表示します。トップページの表示のしかたについては28～30ページをお読みください。本機の画像が表示されます。

### 画面1

トップページにカメラ画像が表示されます。

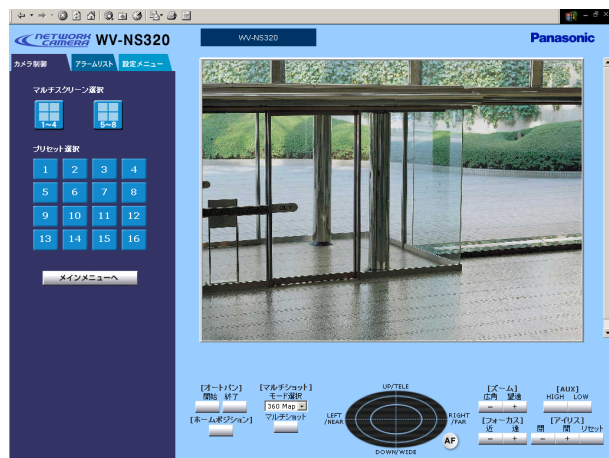


## STEP1

[カメラ制御] ボタンをクリックします。

## 画面2

カメラ制御ページが表示されます。



## STEP2

カメラの操作や画像の調節を行います。操作内容など詳細は次ページをお読みください。

## 操作項目について

### [コントロールパット]

画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）はパットを左クリックして行います。ズームとフォーカスは右クリックで行います。上下に右クリックするとズーム、左右に右クリックするとフォーカスが調節できます。また、マウスをドラッグして調節することもできます。パットの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。

### [カメラ画像]

画像内をクリックして、クリックした場所が画面のほぼ中心になるようカメラを移動させることができます。

### [AF] ボタン

[AF] ボタンをクリックすると、自動的にフォーカス（焦点）を調節します。

### [オートパン]

[開始] ボタンを押すと、あらかじめ登録してあるパンの開始位置と終了位置までパン動作を行います。[終了] ボタンを押すと、パン動作を終了します。

オートパンの設定のしかたは48、92ページをお読みください。

### [ホームポジション]

あらかじめ登録してあるホームポジションにカメラの位置を戻します。ホームポジションの登録のしかたは91ページをお読みください。

### [マルチショット]

マルチショットのモードを選択し、実行します。[マルチショット] ボタンをクリックすると、マルチショットが実行されます。360° Map：現在のカメラの位置から45°の回転を8回行い（45°×8＝360°）、各位置の画像を8枚の画像でサムネイル表示します。

Preset：あらかじめ登録してあるプリセット位置1～8を順に8枚の画像でサムネイル表示します。

サムネイル表示をクリックすると、カメラがその位置に移動します。

### [ズーム]

[－（広角）] または [+（望遠）] ボタンをクリックして、ズームを調節します。

（次ページへ続く）

# 画像を見る

## [AUX]

本機のAUX出力端子の状態を設定します。接続する外部機器の仕様に合わせて [High] ボタンまたは [Low] ボタンをクリックします。AUXの出力端子の詳細については112ページをお読みください。

## [フォーカス]

[- (近)] または [+ (遠)] ボタンをクリックして、カメラの焦点を手動で調節します。

## [アイリス]

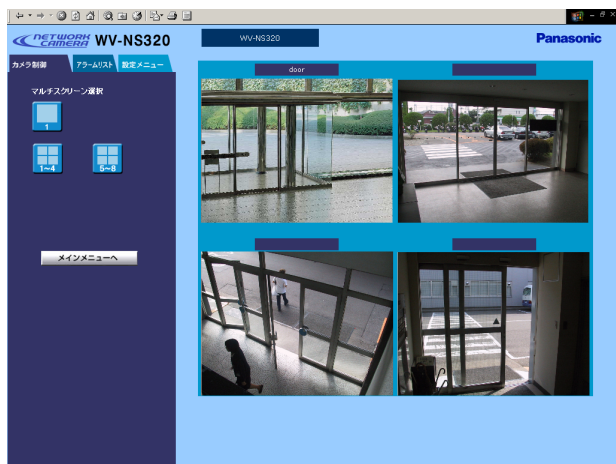
[- (閉)] または [+ (開)] ボタンをクリックして、アイリス (絞り) を調節します。  
[リセット] ボタンをクリックすると、工場出荷時の状態に戻ります。

## 重要！

- マルチショット実行中にカメラコントロールを行うと、マルチショットが機能しません。
- 他のユーザーがマルチショットを実行している場合は、マルチショットを行うことはできません。
- マルチショット実行中にアラーム信号が入力されると、マルチショットは機能しません。
- カメラ設定ページでSET UP MENU表示中、マルチショットは機能しません。
- マルチショット実行中にマルチショットを再度行うと、マルチショット動作が停止します。
- マルチショットで取得した画像は、他のページに移動すると削除されます。取得したい場合は再度 [マルチショット] ボタンをクリックしてください。
- マルチショットは、オートパンの [PAN LIMIT] が「ON」に設定されていても実行できます。

## 複数台のカメラ画像を見る

複数台のカメラの画像を1つの画面 (マルチスクリーン) で確認します。一度に4台までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンでカメラの画像を確認するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの登録が必要です。4台を1つのグループとして登録し、合計8台 (2グループ) まで登録できます。



**重要！** : マルチスクリーンに登録するカメラはホスト認証およびユーザー認証をOFFに設定してください。



## 準備

マルチスクリーンで表示させるカメラを登録します。

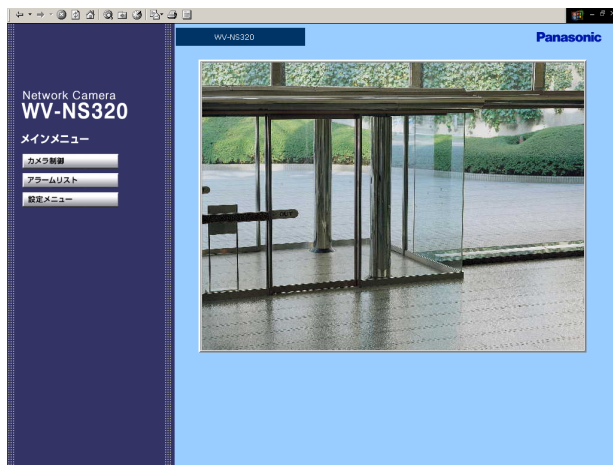
まず、多画面表示設定ページで多画面表示に関する設定を行います。

ブラウザを起動して、ネットワークカメラのトップページを表示します。

トップページの表示のしかたについては28～30ページをお読みください。

### 画面1

トップページから操作します。



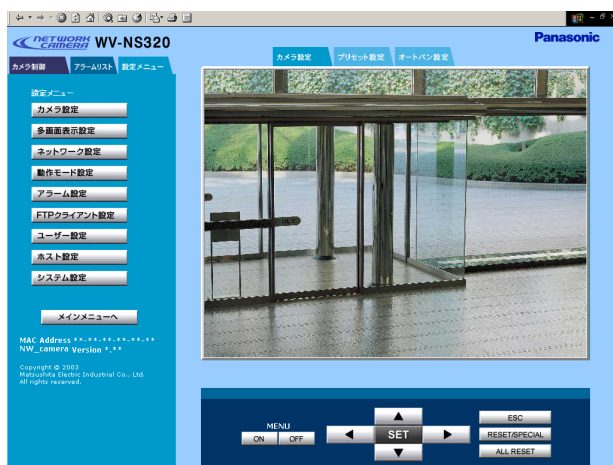
### STEP1

[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能が「使用しない」に設定されている場合、ユーザー名に「admin」を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

### 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



### STEP2

[多画面表示設定]ボタンをクリックします。

# 画像を見る

## 画面3

多画面表示設定ページが表示されます。



## STEP3

多画面表示させたいカメラのIPアドレスを設定します。

4台を1グループとして、8台まで設定できます。

画面上の4台がAグループ、画面下4台がBグループとなります。

DNSを使用している場合は、ホスト名での登録も可能です。その場合、ホスト名、ドメイン名を記入してください。カメラ名称は全角16文字、半角32文字の登録が可能です。

## STEP4

設定したら、[設定] ボタンをクリックします。

## 操作のしかた

多画面表示の設定が終わったら、そのまま多画面表示設定ページから操作できます。

## 画面1

多画面表示設定ページから操作します。

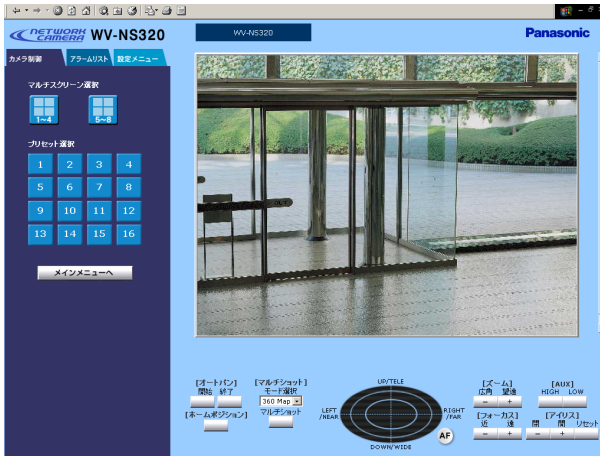


## STEP1

[カメラ制御]タブをクリックします。

## 画面2

カメラ制御ページが表示されます。

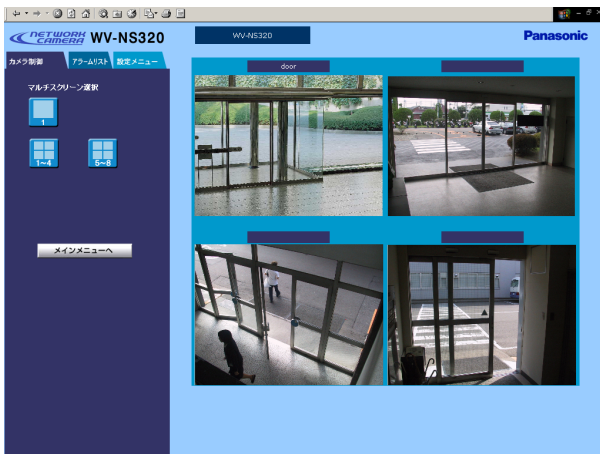


## STEP2

マルチスクリーン選択ボタン [1~4] をクリックします。

## 画面3

カメラの画像が4画面で表示されます。



## STEP3

5台以上設定している場合はマルチスクリーン選択ボタン [5~8] をクリックすると、画像が切り換わります。また、1画面表示にしたい場合は、表示したいカメラのカメラ名称をクリックし、マルチスクリーン選択ボタン [1] をクリックします。

# 画像を見る

## プリセット位置のカメラ画像を見る

プリセット位置として登録された撮影場所の画像を確認します。

プリセット位置のカメラの画像を見るには、あらかじめ、カメラの向き（水平・垂直位置）を設定し、撮影場所をプリセット位置として登録する必要があります。

## プリセット位置を登録する

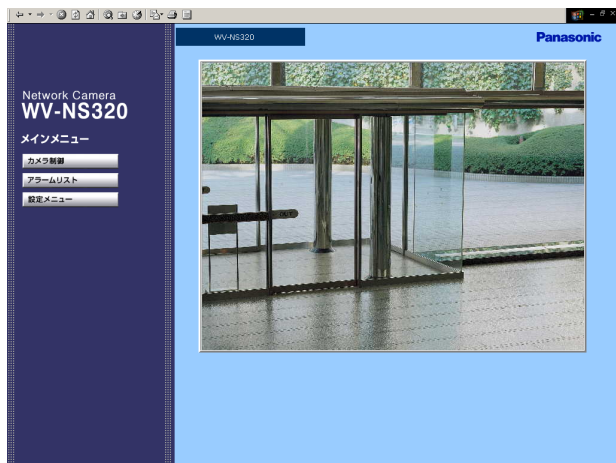
ネットワークカメラのプリセット位置を登録します。

プリセット位置にはそれぞれプリセット番号を登録します。

プリセット位置は16か所まで登録できます。

### 画面1

トップページから操作します。



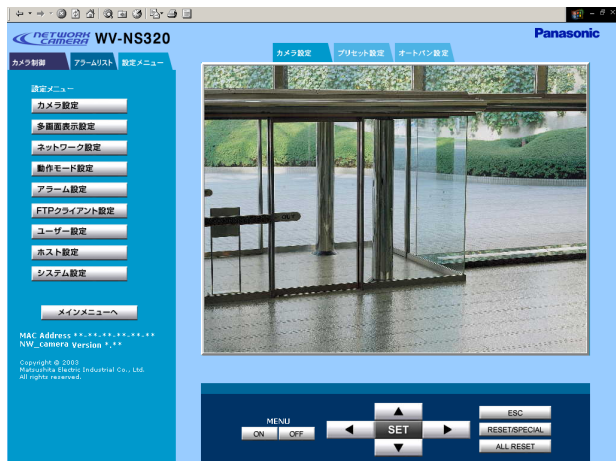
### STEP1

[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能を「使用しない」に設定されている場合、ユーザ名に「admin」を入力し、[OK]ボタンを押してください。

### 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



### STEP2

[プリセット設定]タブをクリックします。

### 画面3

プリセット設定ページが表示されます。



#### STEP3

パットをクリックして、画像の水平位置・垂直位置を調節します。  
必要であれば、[ズーム]、[フォーカス]、[アイリス] を調節します。  
調節のしかたの詳細は39、40ページをお読みください。  
また、[AF] ボタンをクリックすると、オートフォーカス機能が働きます。

#### STEP4

画像の位置が決定したら、その撮影場所のプリセット番号を選択し、[登録] ボタンをクリックします。

#### STEP5

プリセット登録したい数だけSTEP3～STEP4の操作を繰り返します。  
登録したプリセット位置を確認するには、プリセット番号を選択し、[移動] ボタンをクリックします。

# 画像を見る

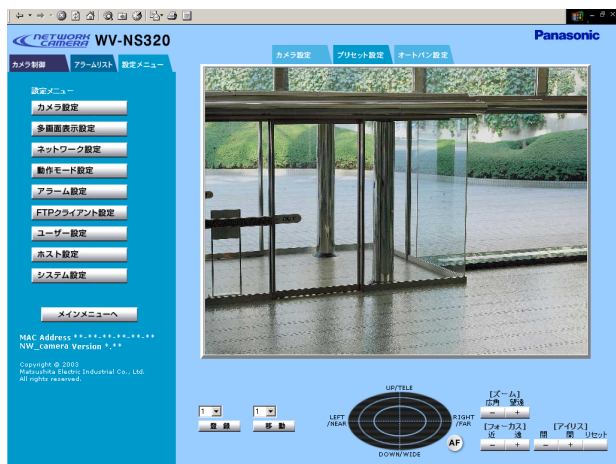
## 操作のしかた

プリセット位置のカメラの画像を見ます。

プリセット位置の登録が終わったら、プリセット設定ページからカメラ制御ページを表示し操作します（そのままプリセット設定ページから操作することもできます。前ページのSTEP5をお読みください）。

### 画面1

プリセット設定ページから操作します。

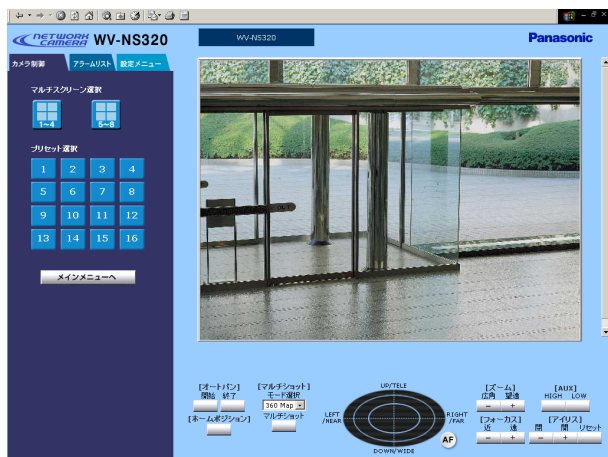


### STEP1

[カメラ制御]タブをクリックします。

### 画面2

カメラ制御ページが表示されます。



### STEP2

表示させたいプリセット番号のボタンをクリックします。

### 画面3

登録されていたプリセット位置の画像が表示されます。



### STEP3

カメラの操作や画像の調節も行えます。操作方法については39、40ページをお読みください。

# 画像を見る

## オートパンの動作を行う

カメラをオートパンさせます。

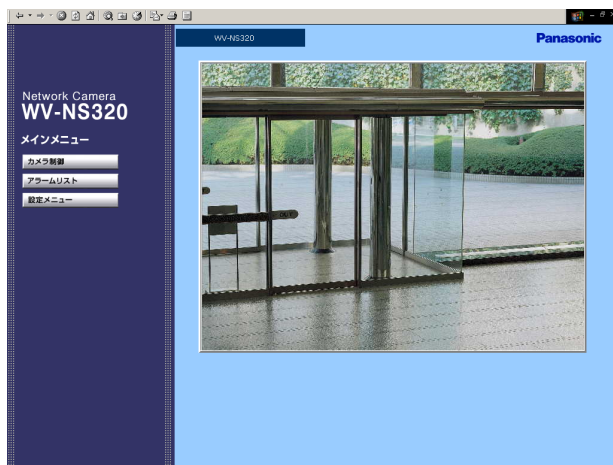
オートパンの動作を行うには、あらかじめパンの開始位置と終了位置を設定しておく必要があります。

## オートパンの設定を行う

パンの開始位置と終了位置を設定します。

### 画面1

トップページから操作します。



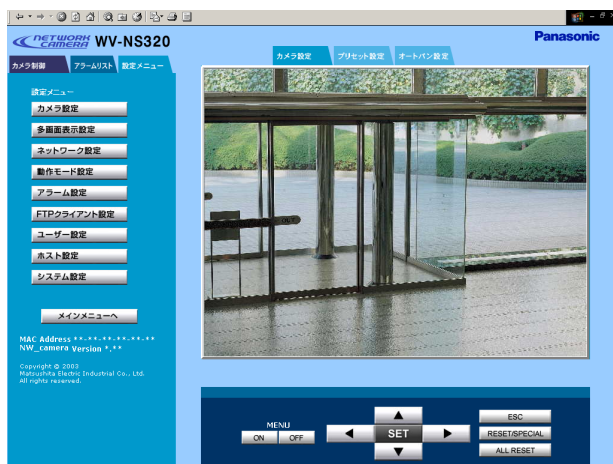
### STEP1

[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能を「使用しない」に設定されている場合、ユーザ名に「admin」を入力し、[OK]ボタンを押してください。

### 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



### STEP2

[オートパン設定] タブをクリックします。



### 画面3

オートパン設定ページが表示されます。



#### STEP3

パットをクリックして、画像の水平位置・垂直位置を調節します。  
必要であれば、[ズーム]、[フォーカス]、[アイリス] を調節します。  
調節のしかたの詳細は39、40ページをお読みください。  
また、[AF] ボタンをクリックすると、オートフォーカス機能が働きます。

#### STEP4

画像の位置が決定したら、[始点] ボタンをクリックします。  
決定した画像の位置がオートパンの始点位置になります。

#### STEP5

STEP3の操作を繰り返して、画像を位置を決定し [終点] ボタンをクリックします。  
決定した画像の位置がオートパンの終点位置になります。

[開始] ボタンをクリックすると、オートパンが開始され、オートパンの動作を確認できます。終了する場合は [終了] ボタンをクリックします。

また、[反転] ボタンをクリックすると、現在と反対方向のオートパン動作を行います。

# 画像を見る

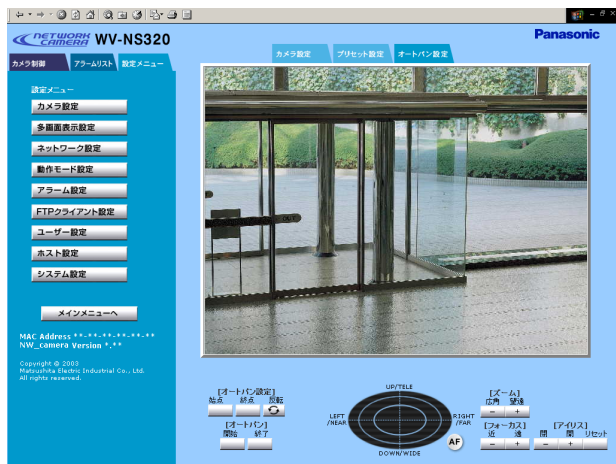
## 操作のしかた

オートパンの動作を行います。

オートパンの開始位置と終了位置の設定が終わったら、オートパン設定ページからカメラ制御ページを表示し操作します（そのままオートパン設定ページから操作することもできます。前ページのSTEP5をお読みください）。

### 画面1

オートパン設定ページから操作します。

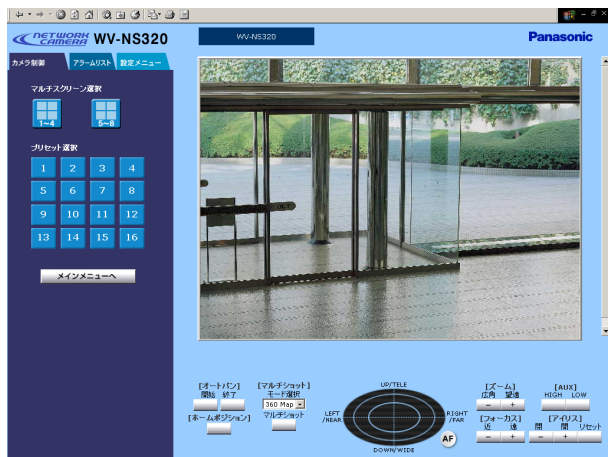


### STEP1

[カメラ制御]タブをクリックします。

### 画面2

カメラ制御ページが表示されます。



### STEP2

オートパン [開始] ボタンをクリックします。

オートパンの動作が開始します。

### STEP3

動作を終了するときは [終了] ボタンをクリックするか、パン・チルトの動作を行います。

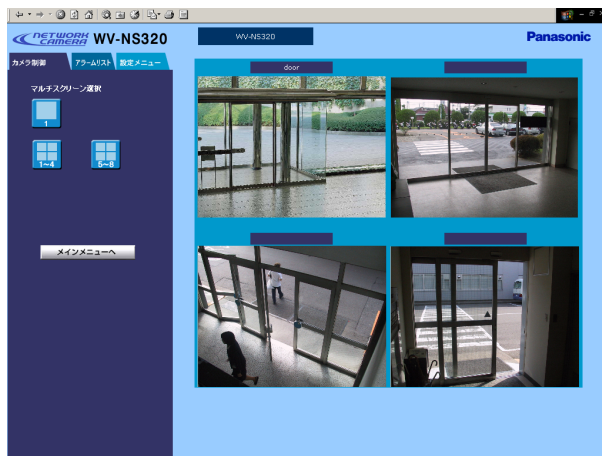
## 今見ている画像をPCに保存する

今、見ている画像をPCにファイルとして保存します。

1画面表示とマルチスクリーン（4画面表示）のどちらの場合でも、画像を保存できます。

### 画面1

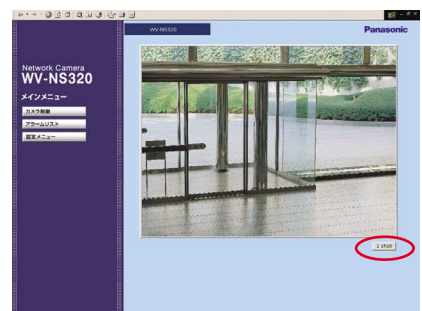
画像を確認している状態の画面から操作します。  
(以下の画面はマルチスクリーンのもので)



### STEP1

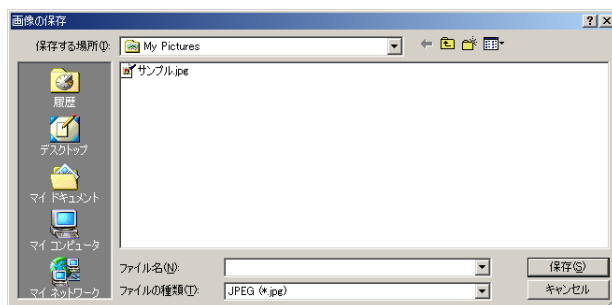
保存したい画像の上にカーソルを合わせ、右クリックし、[名前を付けて画像を保存] を選択します。

補足：動作モード設定ページの[ライブ画像配信モード]を「MJPEG (IE専用)」に設定している場合、画面右下に[1shot] ボタンが表示されず(1画面表示時のみ)。このボタンをクリックすると、本手順で画像を保存できます。



### 画面2

画像の保存画面が表示されます。



### STEP2

[ファイル名] に画像の名前を入力します。

### STEP3

ファイル名を入力したら、[保存] ボタンをクリックします。

ファイル名にはファイル名+拡張子(.jpg)を入力してください。

# アラーム機能を使用する

本機は、アラーム入力ケーブルを装備しています。アラーム入力ケーブルにセンサーなどのアラーム機器を接続すれば、接続したアラーム機器が動作したとき、本機に以下の動作を行うよう設定することができます。

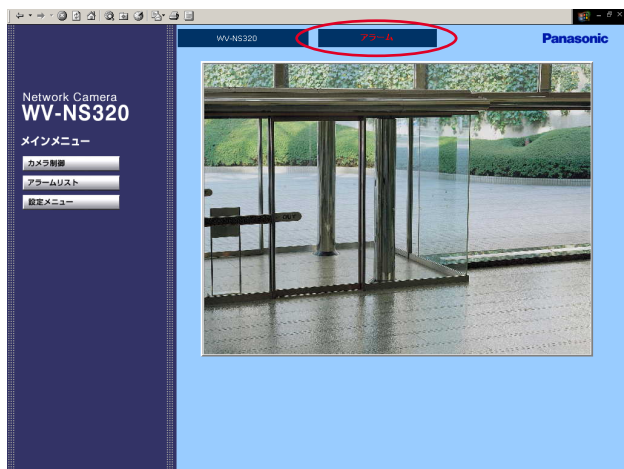
- ・画面上に「アラーム」の文字を表示する
- ・撮影画像をカメラに保存したり、Eメールでアラーム発生を通知する
- ・カメラ内に保存した画像を自動的にサーバーへ転送する
- ・映像出力ケーブルに接続された機器にアラームを通知する
- ・アラームが発生したことを指定したIPアドレスに通知する（独自アラーム）
- ・アラーム出力端子から出力する

同じように、撮影場所の映像に変化（動き）が生じたとき、アラーム機器が動作したときと同じように本機を動作させることができます。この機能をモーションディテクター機能と呼びます。

## アラーム発生時の動作について

アラーム発生時、本機に以下のような動作を行うよう設定することができます。

- ・画面上に「アラーム」の文字を表示して、アラームが発生したことを知らせる  
トップページ、アラームリストページ、カメラ制御ページに「アラーム」の文字を表示します。（以下はトップページに「アラーム」が表示されている画面です）



### 補足

- ・「アラーム」の文字は30秒に1回更新されます。このため、アラーム発生後、トップページに文字が表示されるまで最大30秒の遅延が発生する場合があります。
- ・アラームが発生したとき、画面に表示される「アラーム」の文字は、以下の操作で消すことができます。
  - ・アラームリストページに移動する
  - ・各種設定ページに移動する

## ・その場所の画像をカメラに保存する

撮影した画像を保存します。

保存可能枚数：1アラームあたり最大40枚（直前の画像：20枚、直後の画像：20枚）

最大画像保存枚数：解像度とライブ画の画質によって異なります。最大保存枚数を超えた場合、古い画像から順に削除されます。

### アラーム発生直前の画像を保存しない場合

解像度	画 質			
	Super fine	Fine	Normal	Low
640×480	133	185	230	262
640×240	267	371	460	471
320×240	534	742	921	942
160×120	534	742	920	942

### アラーム発生前の画像を20枚保存する場合

解像度	画 質			
	Super fine	Fine	Normal	Low
640×480	113	165	210	242
640×240	247	351	440	451
320×240	514	722	901	922
160×120	514	722	901	922

**補足：**上記表に示す保存可能枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。

## ・Eメールを送って通知する

アラームの発生とその日時を知らせるEメール（アラームメール）を、あらかじめ登録してあるアドレスに送信します。その際、画像を1枚添付して送信することもできます。送信先は4件まで登録することができます。

アラームメールの内容はカスタマイズすることもできます。

アラームメールには以下のようにカメラ内に保存されたアラーム画像へのリンクアドレスが表示されます。

アラームメールの内容：

「xxx(送信元のメールアドレス)でアラームが発生しました。

発生日時：xxxx. xx. xx xx:xx:xx (例2002.07.24 12:00:00)

アラーム画像数：nn(本機内部に保存された画像枚数)

アラーム画像URL：http://(カメラのIPアドレス)/ALMxxxx\_00.jpg」

Eメールで通知されるURLは、本機に固定IPアドレス（グローバルIPアドレス）が設定されている場合に有効です。本機にプライベートIPアドレスが設定されている場合、同一サブネット内にあるPCからのみEメールで通知されたアドレスでアクセスすることができます。ただし、アラームが多発した場合、Eメールで通知された画像が既に削除されていることがあります。

# アラーム機能を使用する

**補足：** Eメールには1枚目の画像(ALMxxxx\_00.jpg)のURLが送信されます。複数枚保存するよう設定されている場合、「00」部を変えることによって他の画像を見ることができます(40枚目の画像を確認したいときは、[http://\(カメラのIPアドレス\)/ALMxxxx\\_27.jpg](http://(カメラのIPアドレス)/ALMxxxx_27.jpg)をウェブブラウザのアドレスボックスに入力します)。(16進数表示です)

画像のファイル名は以下のように付与されています。

1枚目の画像：ALMxxxx_00.jpg	2枚目の画像：ALMxxxx_01.jpg
3枚目の画像：ALMxxxx_02.jpg	4枚目の画像：ALMxxxx_03.jpg
5枚目の画像：ALMxxxx_04.jpg	6枚目の画像：ALMxxxx_05.jpg
7枚目の画像：ALMxxxx_06.jpg	8枚目の画像：ALMxxxx_07.jpg
9枚目の画像：ALMxxxx_08.jpg	10枚目の画像：ALMxxxx_09.jpg
11枚目の画像：ALMxxxx_0A.jpg	12枚目の画像：ALMxxxx_0B.jpg
13枚目の画像：ALMxxxx_0C.jpg	14枚目の画像：ALMxxxx_0D.jpg
15枚目の画像：ALMxxxx_0E.jpg	16枚目の画像：ALMxxxx_0F.jpg
17枚目の画像：ALMxxxx_10.jpg	18枚目の画像：ALMxxxx_11.jpg
19枚目の画像：ALMxxxx_12.jpg	20枚目の画像：ALMxxxx_13.jpg
21枚目の画像：ALMxxxx_14.jpg	22枚目の画像：ALMxxxx_15.jpg
23枚目の画像：ALMxxxx_16.jpg	24枚目の画像：ALMxxxx_17.jpg
25枚目の画像：ALMxxxx_18.jpg	26枚目の画像：ALMxxxx_19.jpg
27枚目の画像：ALMxxxx_1A.jpg	28枚目の画像：ALMxxxx_1B.jpg
29枚目の画像：ALMxxxx_1C.jpg	30枚目の画像：ALMxxxx_1D.jpg
31枚目の画像：ALMxxxx_1E.jpg	32枚目の画像：ALMxxxx_1F.jpg
33枚目の画像：ALMxxxx_20.jpg	34枚目の画像：ALMxxxx_21.jpg
35枚目の画像：ALMxxxx_22.jpg	36枚目の画像：ALMxxxx_23.jpg
37枚目の画像：ALMxxxx_24.jpg	38枚目の画像：ALMxxxx_25.jpg
39枚目の画像：ALMxxxx_26.jpg	40枚目の画像：ALMxxxx_27.jpg

## ・保存した画像をサーバーへ転送する

カメラに保存した画像をあらかじめ指定したサーバーへ送信します。

## ・指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する(独自アラーム)

この機能は、当社製サーバーソフトウェア(WV-AS710Aなど)をご使用の場合有効な機能です。独自アラームを「使用する」に設定すれば、サーバーソフトウェアに、本機がアラーム状態にあることを通知し、独自の動作を行わせることができます。詳しくはサーバーソフトウェア付属のPDFマニュアルをお読みください。

## モーションディテクター機能について

指定した範囲内の画面の動き(輝度変化)をとらえ、アラーム信号を出力します。本機では動きを検出したときに、その場所の画像を保存したり、メールを送信するよう設定することができます。

検出範囲などモーションディテクターが機能する条件はSET UP MENUで設定します。

PCからSET UP MENUを表示する方法については77ページをお読みください。

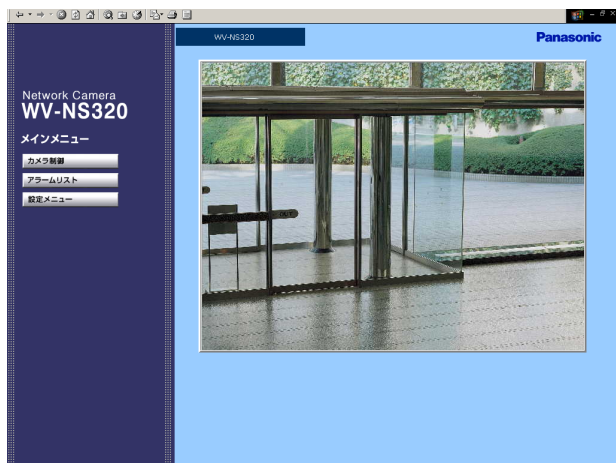
また、SET UP MENUのモーションディテクターの操作のしかたについては100ページをお読みください。

# アラーム発生時の動作を設定する

アラーム発生時の動作を設定します。設定はアラーム設定ページで行います。

## 画面1

トップページから操作します。



## STEP1

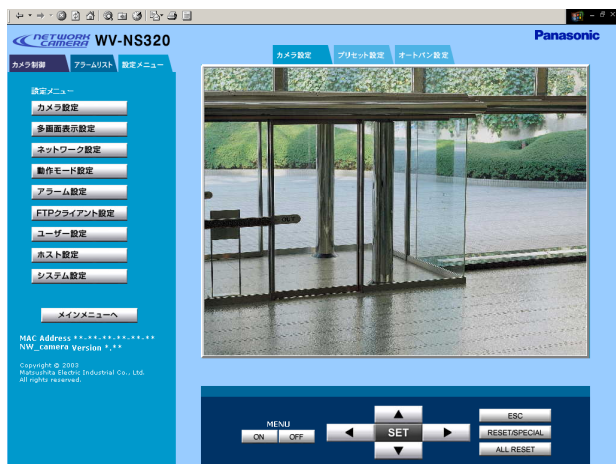
[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能が「使用しない」に設定されている場合、ユーザー名に「admin」を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

PCから操作する\*操作

## 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



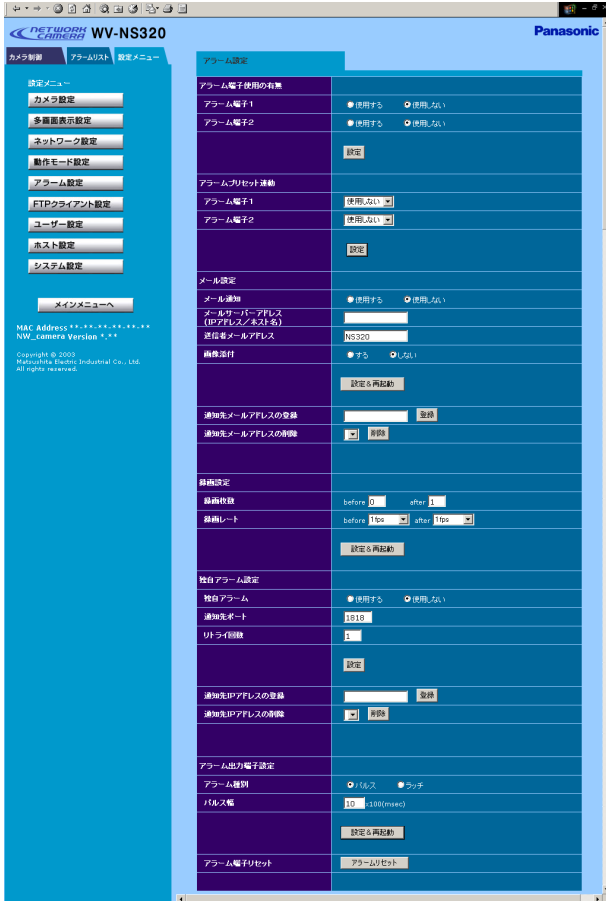
## STEP2

[アラーム設定] ボタンをクリックします。

# アラーム機能を使用する

## 画面3

アラーム設定ページが表示されます。



## STEP3

アラームに関する設定を行います。  
各項目の設定内容など詳細は以下をお読みください。

## STEP4

各設定を行ったら、各設定ごとに [設定] ボタン、[設定&再起動] ボタンをクリックします。

## STEP5

カメラ画像の表示に戻りたいときは、[メインメニューへ] ボタンをクリックします。

**補足：**再起動後にページを切り換えるときは、再起動が完了してから行ってください。再起動には約10秒かかります。



## 設定項目について

### [アラーム端子使用の有無]

[アラーム端子1][アラーム端子2]  
外部端子のアラーム入力を使用するかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。設定したら[設定]ボタンをクリックします。

### [アラームプリセット連動]

[アラーム端子1][アラーム端子2]  
アラームが発生したとき、アラームに連動してあらかじめ登録してあるプリセット位置にカメラを移動するかどうかを設定します。設定したら、[設定] ボタンをクリックします。  
使用しない：カメラを移動しません  
ポジション1：ポジション1にカメラを移動します  
ポジション2：ポジション2にカメラを移動します

### [メール設定]

[メール通知]  
アラームが発生したときにメール通知を行うかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

[メールサーバーアドレス]  
メールサーバーアドレスを入力します。ネットワーク設定でDNSを「使用する」に設定している場合、ホスト名.(ピリオド)ドメイン名(半角英数字128文字以内)を入力できます。

[送信者メールアドレス]  
送信元のメールアドレスを半角英数字128文字以内で入力します。必ず管理者のメールアドレスを入力するようにしてください。

[画像添付]  
アラームが発生したとき送信するメールに画像を添付するかどうかを「する/しない」で設定します。

[設定&再起動]ボタン  
[メール設定]の項目を設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

[通知先メールアドレスの登録]  
通知先のメールアドレスを設定します。設定したら[登録]ボタンをクリックします。通知先として4つまでのアドレスを登録できます。

[通知先メールアドレスの削除]  
[▼] ボタンをクリックして、通知先として登録されているアドレスを確認できます。[削除]ボタンをクリックすると選択した通知先アドレスを削除できます。  
**重要!**：メール通知はSMTP/POP3認証が必要な環境では動作しません。

### [録画設定]

[記録枚数]  
before：アラーム発生直前の画像の記録枚数を設定します。0~20枚で設定できます。  
after：アラーム発生時の画像の記録枚数を設定します。1~20枚で設定できます。

[録画レート]  
保存する画像の録画レートを設定します。短時間でできるだけ多くの画像を記録したい場合は、数値を大きくします。  
before：アラーム発生直前の画像の記録するときのフレームレートを設定します。以下から設定します(単位fps)。  
1/10, 1/5, 1/3, 1/2, 1, 2, 3.3, 5

# アラーム機能を使用する

after : アラーム発生時の画像の記録枚数のフレームレートを設定します。以下から設定します(単位 fps)。  
1/10, 1/5, 1/3, 1/2, 1, 2, 3.3, 5, 10

[設定&再起動]ボタン  
[録画設定]の項目を設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

## [独自アラーム設定]

[独自アラーム]  
独自アラーム機能を使用するかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

[通知先ポート]  
アラーム通知に使用するポート番号を設定します。

[リトライ回数]  
サーバーから応答がなかった場合の再試行回数を設定します。

[設定]ボタン  
[独自アラーム]の項目を設定したら[設定]ボタンをクリックします。

[通知先IPアドレス]  
通知先サーバーのIPアドレスを設定します。設定したら[登録]ボタンをクリックします。

[通知先IPアドレスの削除]  
[▼] ボタンをクリックして、通知先として登録されているサーバーのIPアドレスを確認できます。[削除]ボタンをクリックすると選択した通知先IPアドレスを削除できます。

## [アラーム出力設定]

[アラーム種別]  
外部端子のアラーム出力端子から出力するアラーム出力種別を「パルス/ラッチ」で設定します。

パルス : アラームが発生したとき、[パルス幅]に指定した時間のパルスを出力します。

ラッチ : アラームが発生したとき、下にある[アラームリセット]ボタンをクリックするまで、ON状態になります。

[パルス幅]  
アラーム種別でパルスを選択したときに、パルス幅を設定します。1~100(×100ミリ秒)まで設定できます。

[設定&再起動]ボタン  
設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

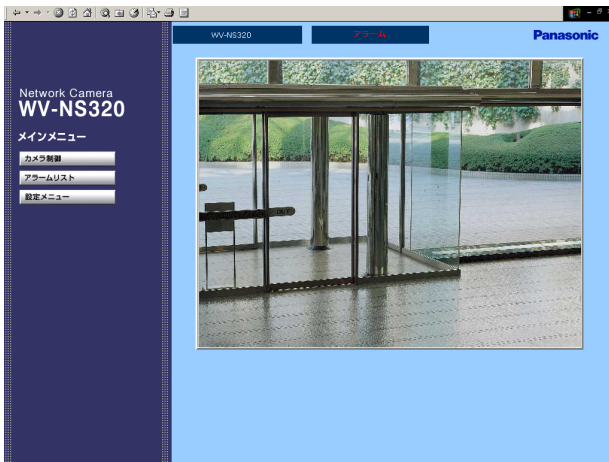
[アラーム端子リセット]  
アラーム出力の状態をリセットしたいとき、[アラームリセット] ボタンをクリックします。

## 保存された画像を見る

アラーム発生によって本機に保存された画像を確認します。操作はアラームリストページで行います。アラームリストページに入ると、画面の「アラーム」の文字は消えます。

### 画面1

トップページから操作します。



### STEP1

[アラームリスト]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能を「使用しない」に設定されている場合、ユーザ名に「admin」を入力し、[OK]ボタンを押してください。

### 画面2

アラームリストページが表示されます。



### STEP2

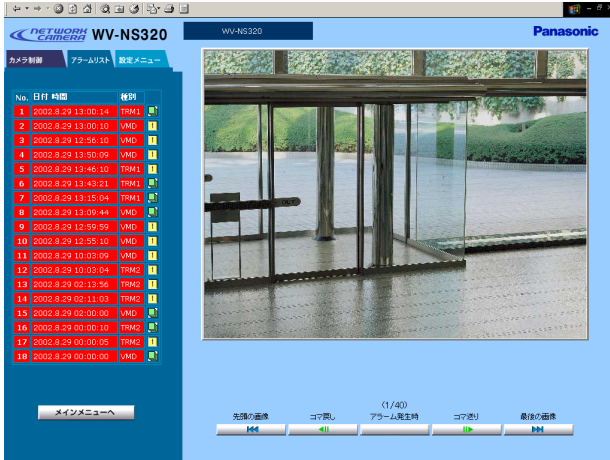
アラームリストから見たいアラームの発生時刻をクリックします。

**補足：**アイコンが付加されていない発生時刻をクリックしても記録した画像は見られません。アラーム一覧には100件までのアラーム発生日時が表示されます。100件を超えた場合は古いものから削除されます。

# アラーム機能を使用する

## 画面3

記録されている画像が表示されます。



## STEP3

画像を複数枚記録するよう設定されている場合、画面下の操作パネルのボタンで記録された画像を操作します。

[先頭の画像]

選択した日時に記録された、先頭の画像を表示します。

[コマ戻し]

1つ前の画像を表示します。

[アラーム直後の画像]

アラーム発生直後の画像を表示します。

[コマ送り]

1つ後ろの画像を表示します。

[最後の画像]

選択した日時に記録された、最後の画像を表示します。

## STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[メインメニューへ]ボタンをクリックします。

## 重要!

- ・アイコンが付加されてても画像が表示されないことがあります。これは、新しいアラームが発生し、該当アラームの画像が削除されているためです。
- ・操作パネルのボタンをクリックしても操作できないときは、一度他のページに移動して、再度アラームリスト画面を表示してください。

## アラームメールの内容をカスタマイズする

アラームの発生とその日時をお知らせするアラームメールの内容をカスタマイズすることができます。以下の手順で操作してください。

### STEP1

メール本文をテキストエディタで作成し、テキスト形式で保存します。

表示させたい項目（アラーム発生日時やアラーム要因、ホストアドレスなど）によって、入力する文字が異なります。メール内容を作成する際、以下の置換文字一覧を参考にしてください。ファイル名は「almmail.tpl」にして保存します。

### STEP2

PCのDOSプロンプトを起動し、「ftp カメラのIPアドレス」を入力します。

ユーザ名、パスワードは以下のように設定します。

- ・ユーザ設定ページで登録されている管理者(レベル1)のユーザ名とパスワードを使用します。
- ・ユーザー登録を行っていない場合は、以下のように入力します。  
ユーザ名： admin  
パスワード： なし

### STEP3

「put almmail.tpl」を入力し、作成したファイル(almmail.tpl)を本機内にアップロードします。

## 置換文字一覧

表示させたい項目	入力文字	表示形式・表示例
アラーム発生年（4桁）	%Y	西暦4桁表示（2003～2099）
アラーム発生年（2桁）	%y	西暦下2桁表示（00～99）
アラーム発生月（数字）	%m	2桁表示（01～12）
アラーム発生月（文字）	%M	英語の頭3文字表示（Jan、Feb、.....Dec）
アラーム発生日	%d	2桁表示（01～31）
アラーム発生時間	%t	24時間表示（15：00：00）
メール送信者	%s	
NS320ホスト名	%h	
NS320ホストアドレス	%i	192.168.0.1
アラーム要因	%p	端子：Terminal1 端子2：Terminal2 VMD：VMD
アラーム画像ファイル名	%f	ALM0000_00.jpg
アラーム画像URL (IPアドレス)	%u	http://192.168.0.1/ALM0000_00.jpg
アラーム画像数	%n	0～

# 画像をサーバーに転送する

カメラ画像をサーバーに転送します。サーバーへの転送は、以下の2つを設定できます。

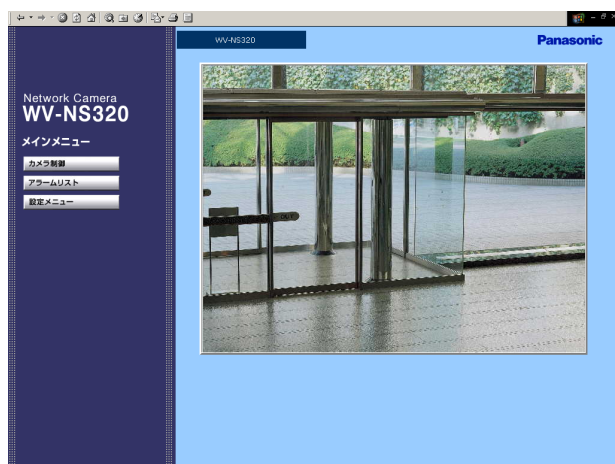
- ・監視範囲内に動きを感知した、または外部端子に接続したアラーム機器が動作したときに画像を転送
- ・時間間隔を指定して定期的に画像を転送

サーバーへ画像を転送するにはあらかじめ設定が必要です。

## 画像を転送するための準備

### 画面1

トップページから操作します。



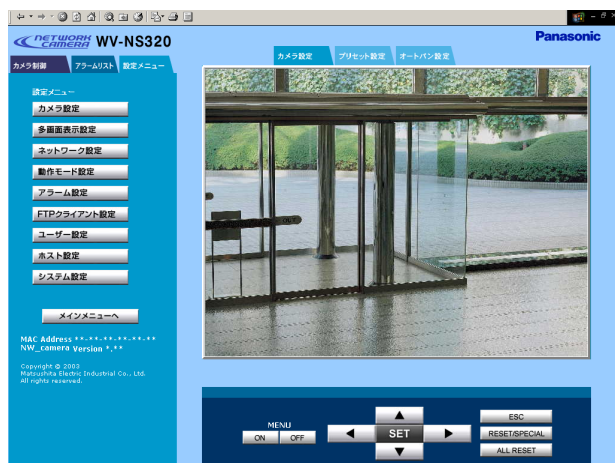
### STEP1

[設定メニュー] ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能が「使用しない」に設定されている場合、ユーザー名に「admin」を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

### 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



### STEP2

[FTPクライアント設定] ボタンをクリックします。

### 画面3

FTPクライアント設定ページが表示されます。



**補足：**再起動後にページを切り換えるときは、再起動が完了してから行ってください。再起動には約10秒かかります。

### STEP3

「共通設定」の各項目を設定します。

[FTPサーバーアドレス]  
転送先のサーバーのIPアドレスを入力します。ネットワーク設定でDNSを「使用する」に設定している場合、ホスト名.(ピリオド)ドメイン名(半角英数字128文字以内)を入力できます。

[ユーザ名]  
FTPサーバーにログインするためのユーザ名を半角英数字16文字以内で入力します。

[パスワード]  
FTPサーバーにログインするためのパスワードを半角英数字16文字以内で入力します。

[モード]  
シーケンシャル/パッシブどちらのモードで転送するか設定します。「シーケンシャル」で接続できないときは「パッシブ」に切り換えてください。

[時刻設定1][時刻設定2]  
転送する曜日にチェックを入れ、時刻範囲(開始時刻～終了時刻)を設定します。ここで、設定した時刻が定期送信およびアラーム送信の送信時刻となります。

### STEP4

設定したら、[設定&再起動]ボタンをクリックします。

### STEP5

カメラ画像に戻りたいときは、[メインメニューへ]ボタンをクリックします。

# 画像をサーバーに転送する

## 指定した時間間隔で定期的に画像を転送する

時間間隔を指定して、定期的にサーバーに画像を転送するよう設定します。  
設定は前ページのFTPクライアント設定ページで行います。

### 画面1

FTPクライアント設定ページから操作します。



### STEP1

スクロールバーをドラッグして「定期送信設定」の設定項目を表示します。

### STEP2

「定期送信設定」の各項目を設定します。  
設定内容の詳細は以下をお読みください。

### STEP3

設定したら、[設定&再起動]ボタンをクリックします。

### STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[メインメニューへ]ボタンをクリックします。

## 設定項目について

### [定期送信]

「使用する」にチェックします。

### [ディレクトリ]

転送する画像ファイルを保存するディレクトリ名を半角英数字256文字以内で入力します。

### [ファイル名]

転送する画像ファイル名を半角英数字128文字以内で設定します。

固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」にすると、常に転送したファイルを上書きします。

日時データ：入力したファイル名+連続番号+送信日時(月日時分秒年)をファイル名として使用します。

### [転送間隔]

「定期送信」を「使用する」に設定した場合、転送間隔を以下から設定します。

0.2秒～0.9秒(0.1秒単位)、1秒～1440秒(1秒単位)、1分～1440分(1分単位)

### 補足

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で転送できない場合があります。
- 定期送信とアラーム送信を同時に使用すると、アラーム送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。
- 再起動後にページを切り換えるときは、再起動が完了してから行ってください。再起動には約10秒かかります。



# アラーム発生時に画像を転送する

アラーム発生時保存された画像をサーバーへ転送するよう設定します。  
設定はFTPクライアント設定ページで行います。

## 画面1

FTPクライアント設定から操作します。



**補足：**再起動後にページを切り換えるときは、再起動が完了してから行ってください。再起動には約10秒かかります。

### STEP1

スクロールバーをドラッグして「アラーム送信設定」の設定項目を表示します。

### STEP2

「アラーム送信設定」の各項目を設定します。

[アラーム送信]

「使用する」にチェックします。

[ディレクトリ]

転送する画像ファイルを保存するディレクトリ名を半角英数字256文字以内で入力します。

[ファイル名]

転送する画像ファイル名を半角英数字128文字以内で設定します。転送されるファイル名は、以下のようになります。

ファイル名：入力したファイル名+連続番号+日時(月日時分秒年)

**補足：**アラーム設定ページの「録画設定」に設定した録画枚数(「before」と「after」の合計)が転送されるファイル数となります。

### STEP3

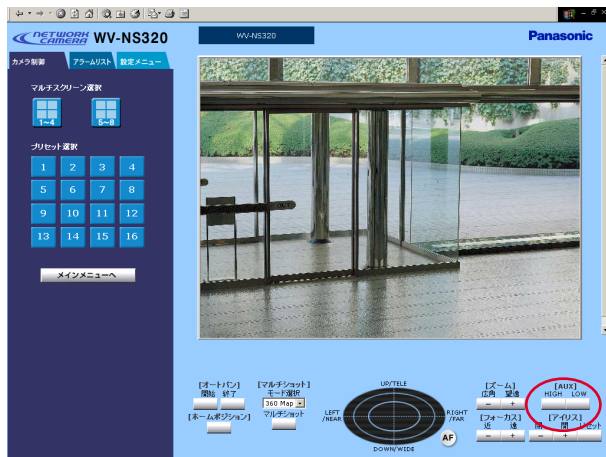
設定したら、[設定&再起動] ボタンをクリックします。

### STEP4

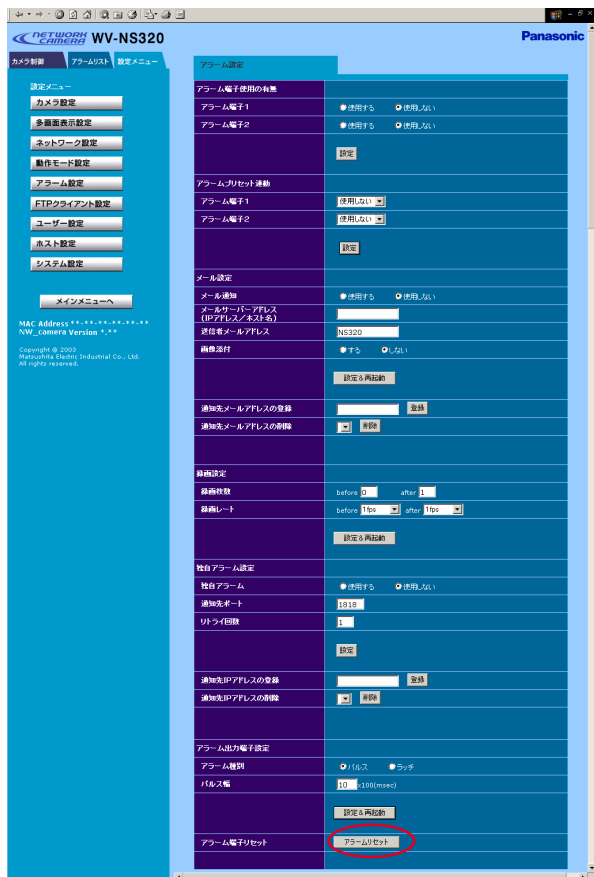
カメラ画像に戻りたいときは、[メインメニューへ] ボタンをクリックします。

# 外部機器を制御する

本機のアラーム出力ケーブルにブザーなどの外部機器を接続することもできます。外部機器の操作はカメラ制御ページで行います。(→39ページ)



また、アラーム出力端子の状態をリセットするときは、アラーム設定ページの「アラームリセット」ボタンをクリックします。(→58ページ)



PCから操作する\*操作

# 認証機能を使用する

---

## 認証について

本機は、本機にアクセスするための認証を二重で行うように設定できます。1つが「ユーザ認証」でもう1つが「ホスト認証」です。

ユーザ認証では、ユーザ名とパスワードを入力させ、認証を行います。16ユーザまで登録できます。設定はユーザ認証ページで行います。

ホスト認証では、本機にアクセスできるPCのIPアドレスをあらかじめ登録しておくことによって、未登録のIPアドレスが設定されているPCからのアクセスを遮断することができます。8つまでIPアドレスを登録できます。設定はホスト認証ページで行います。

**補足：**ユーザ認証とホスト認証は同時に使用することができます。この場合、ホスト認証後に、ユーザ認証が行われます。

## 本機に装備されているセキュリティ機能について

### ①ホスト認証・ユーザー認証によるアクセスの制限

ホスト認証・ユーザー認証の設定をON にすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。

**重要！：**「admin」のパスワードは必ず変更してください。(→71ページ)

### ②HTTPポートの変更によるアクセスの制限

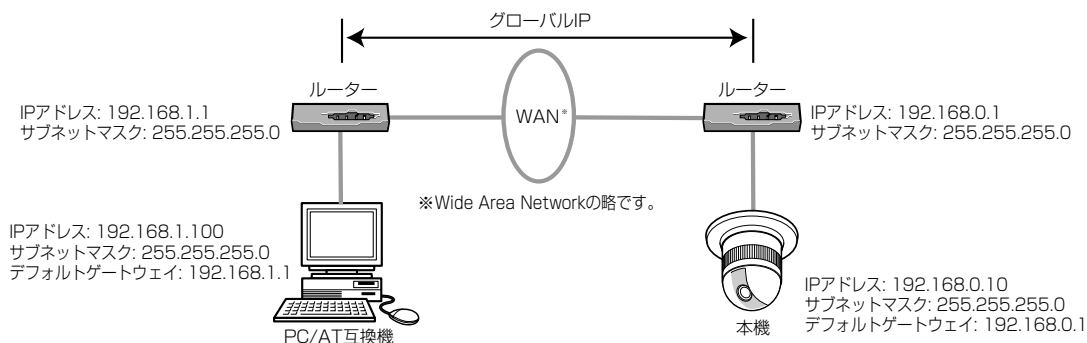
HTTPのポート番号を変更することで、ポートスキャンなどの不正アクセスを防止することができます。(→31、33ページ)

# 認証機能を使用する

## セキュリティ強化のために

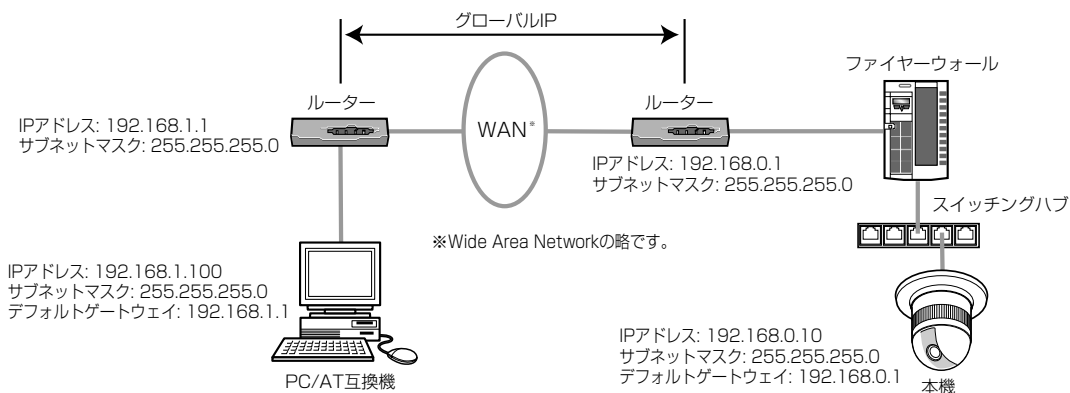
ルーターを使用してサブネットに分け、本機とルーターでIPアドレスによる認証を二重に行うことでネットワークセキュリティを強化します。

### <接続例1>



さらにファイヤーウォールなどを使用し、パケットフィルタリングやプロトコルフィルタリングを行うことで、ネットワークセキュリティを強化します。

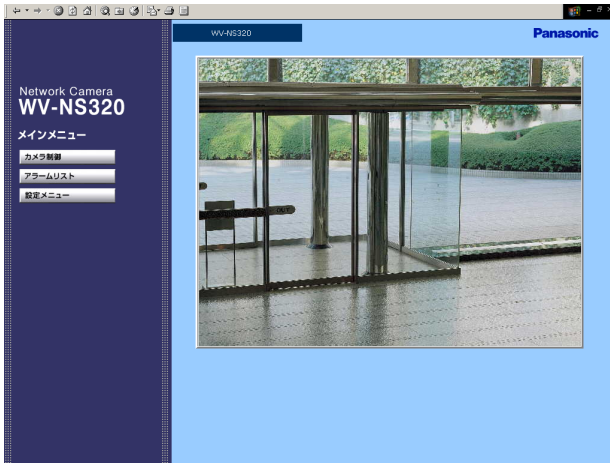
### <接続例2>



# ユーザ認証を設定する

## 画面1

トップページから操作します。



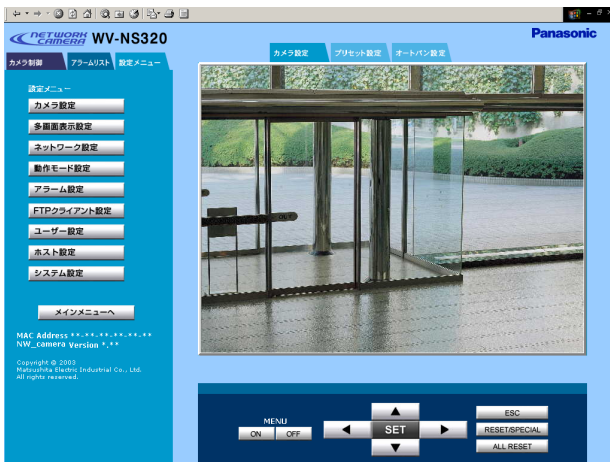
## STEP1

[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能が「使用しない」に設定されている場合、ユーザー名に「admin」を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

## 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



## STEP2

[ユーザー設定] ボタンをクリックします。

# 認証機能を使用する

## 画面3

ユーザ設定ページが表示されます。



## STEP3

ユーザ認証に関する各種設定を行います。設定内容については次ページをお読みください。

## STEP4

設定したら、[設定]ボタンをクリックします。

## STEP5

カメラ画像に戻りたいときは、[メインメニューへ]ボタンをクリックします。

---

## 設定項目について

### [ユーザ認証設定]

#### [ユーザ認証]

ユーザ認証を行うかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

### [ユーザ登録(パスワード、アクセスレベルの登録/変更)]

#### [ユーザ名]

ユーザ名を半角英数字16文字以内で入力します。

#### [パスワード][パスワード再入力]

パスワードを半角英数字16文字以内で入力します。誤入力防止のため[パスワード再入力]に同じパスワードを入力します。

#### [アクセスレベル]

アクセスレベルを以下から設定します。

- 1 (管理者) : すべての操作を行えます。
- 2 (カメラコントロール) : カメラの制御、マルチスクリーンでの画像の確認ができます。
- 3 (ライブ画モニタリング) : 画像表示とアラームリストページの表示が可能です。カメラコントロールや各種設定操作は行えません。

#### [ユーザの削除]

#### [ユーザ名]

[▼] ボタンをクリックして、登録されているユーザ名を確認できます。

右の [削除] ボタンをクリックすると、選択したユーザを削除できます。

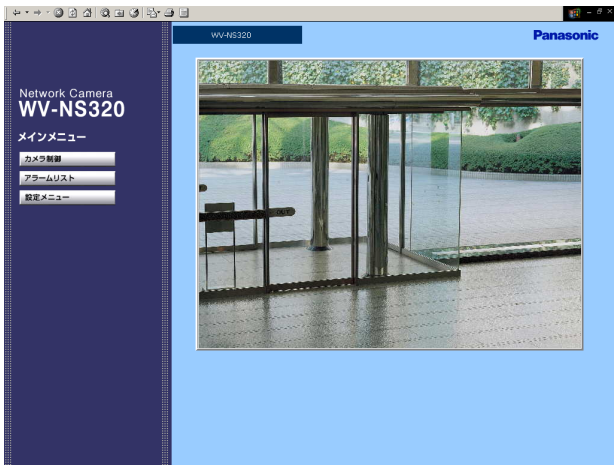
**重要!** : お買い上げ時、管理者 (レベル1) のユーザー : adminが登録されています。「admin」は削除できません。また、「admin」はパスワードなしで登録されていますので、必ずパスワードの変更を行ってください。

# 認証機能を使用する

## ホスト認証を設定する

### 画面1

トップページから操作します。



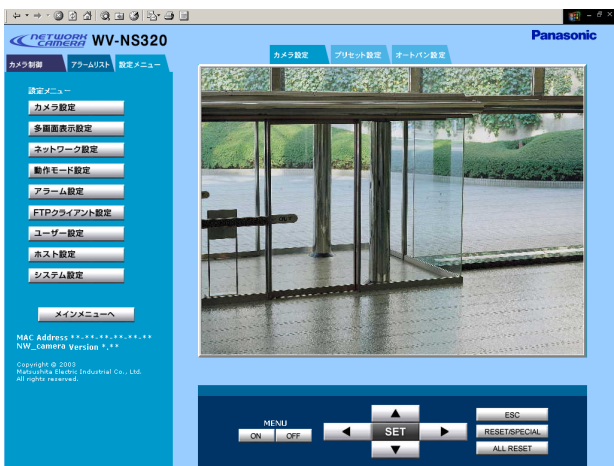
### STEP1

[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能が「使用しない」に設定されている場合、ユーザー名に「admin」を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

### 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



### STEP2

[ホスト設定] ボタンをクリックします。



### 画面3

ホスト設定ページが表示されます。



#### STEP3

ホスト認証に関する各種設定を行います。設定内容については以下をお読みください。

#### STEP4

設定したら、[設定]ボタンをクリックします。

#### STEP5

カメラ画像に戻りたいときは、[メインメニューへ]ボタンをクリックします。

## 設定項目について

### [ホスト認証]

[ホスト認証]

ホスト認証を行うかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

**重要！**：ホスト認証を設定する前に必ずホスト登録を行ってください。

### [ホスト登録(アクセスレベルの変更)]

[ホストIPアドレス/ホスト名.(ピリオド)ドメイン名]

本機へアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。ネットワーク設定でDNSを「使用する」に設定している場合、ホスト名.(ピリオド)ドメイン名(半角英数字128文字以内)を入力できます。

### [アクセスレベル]

アクセスレベルを以下から設定します。

- 1 (管理者)：すべての操作を行えます。
- 2 (カメラコントロール)：カメラの制御、マルチスクリーンでの画像の確認ができます。
- 3 (ライブ画モニタリング)：画像表示のみ可能です。カメラコントロールや各種設定操作は行えません。

### [登録ホストの削除]

[ホストアドレス]

[▼] ボタンをクリックして、登録されているホストアドレスを確認できます。右の [削除] ボタンをクリックすると、選択したホストアドレスを削除できます。

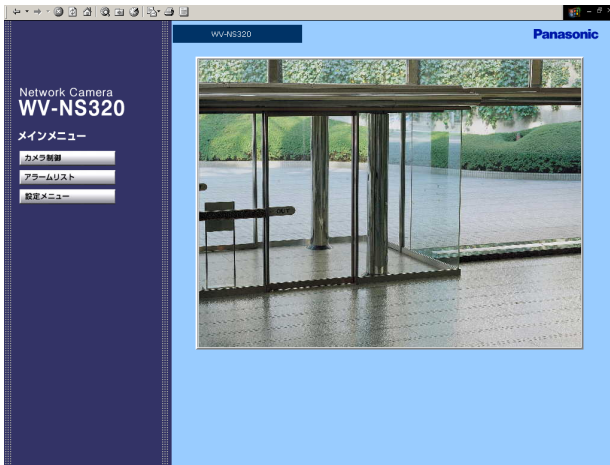
**重要！**：ユーザ認証とホスト認証の両方を「使用しない」にすると、すべてのユーザがライブ画モニタリング(レベル3)でのアクセスとなります。

# システムに関する設定を行う

本機の時刻設定やカメラ名称などシステムに関する設定を行います。  
設定はシステム設定ページで行います。

## 画面1

トップページから操作します。



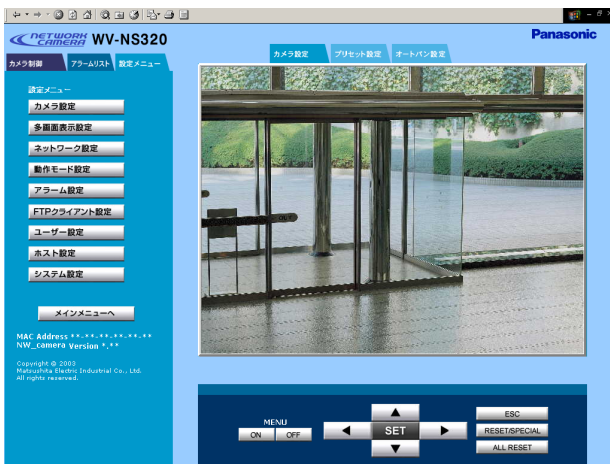
## STEP1

[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能を「使用しない」に設定されている場合、ユーザ名に「admin」を入力し、[OK]ボタンを押してください。

## 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



## STEP2

[システム設定] ボタンをクリックします。

### 画面3

システム設定ページが表示されます。



### STEP3

システム設定に関する各種設定を行います。

各項目の設定内容など詳細は次ページをお読みください。

### STEP4

設定したら、[設定]ボタンをクリックします。

### STEP5

カメラ画像に戻りたいときは、[メインメニューへ]ボタンをクリックします。

[時刻設定] を「NTP」に設定した場合、以下の画面が表示されます。



PCから操作する\*操作

# システムに関する設定を行う

## 設定項目について

### [時刻設定]

時刻設定の基準を設定します。

手動：マニュアルで時刻を調節します。

NTP：NTPサーバーを基準に時刻を調節します。

**重要！**：NTPを使用する場合は、必ず、[手動設定]で2036年より前の日時を入力しておいてください。

### [手動設定]

[時刻設定]で「手動」を設定した場合、年月日時分秒を入力します。

年                  ：西暦を4けたで入力

月、日              ：2けたで入力

時、分、秒          ：時、分、秒をコロン（:）で区切り、2けたで入力

### [NTPサーバーアドレス]

[時刻設定]で「NTP」を設定した場合、NTPサーバーのアドレスを入力します。

DNSを使用する場合は、ホスト名、ドメイン名での登録もできます。

### [NTPポート番号]

NTPサーバーのポート番号を入力します。

通常は「123」で使用できます。

### [同期間隔]

NTPサーバーへの取得間隔を24時間制で1時間単位に設定します。

### [タイムゾーン]

NTPを使って時刻設定を行う場合、ご使用の場所に合ったタイムゾーンを設定してください。

また、国内で使用する場合は、

「+09:00」に設定してください。

### [時刻表示]

時刻表示の表示位置を設定します。

OFF：表示しない

ON（左上）：左上に表示

ON（左下）：左下に表示

ON（右上）：右上に表示

ON（右下）：右下に表示

### [表示形式]

表示形式を以下から選択します。

年/月/日：西暦/月/日で表示

月/日/年：月/日/西暦で表示

日/月/年：日/月/西暦で表示

### [カメラ名称]

カメラの名称を入力します。

入力可能文字数：最大全角16文字

# PCからカメラ設定 (SET UP MENU) を操作する

SET UP MENUはシステム機器から本機の設定を行う場合に使用するメニューです。PCからインターネットを経由して本機にアクセスし、SET UP MENUを呼び出して操作を行うこともできます。

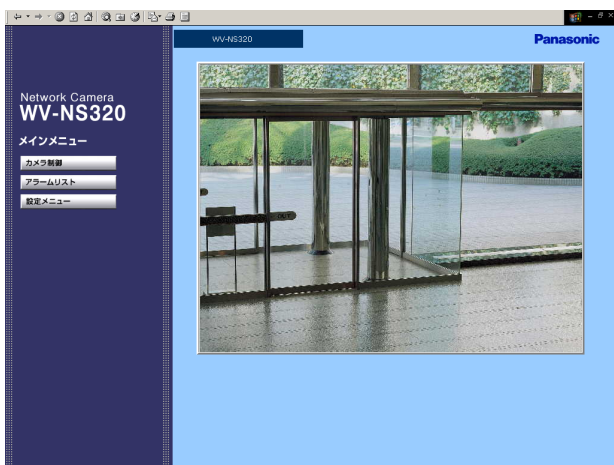
SET UP MENUは設定メニューのカメラ制御ページより詳細なカメラ機能の設定が行えます。ここでは、ネットワークに接続されたPCからSET UP MENUを表示する方法について説明します。

SET UP MENUについての詳細は81～105ページをお読みください。

## 表示のしかた

### 画面1

トップページから操作します。



### STEP1

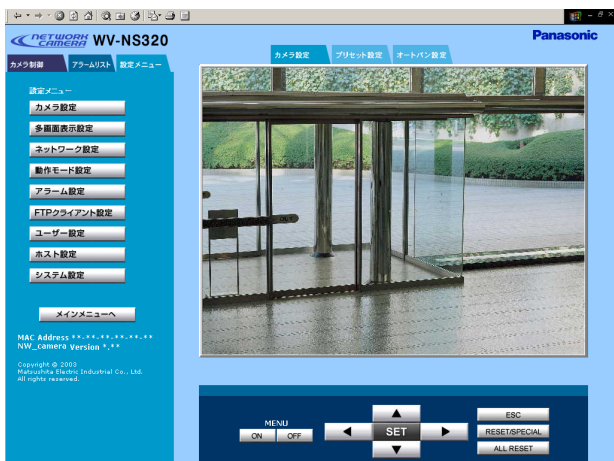
[設定メニュー]ボタンをクリックします。

**補足：**設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能を「使用しない」に設定されている場合、ユーザ名に「admin」を入力し、[OK]ボタンを押してください。

PCから操作する\*操作

### 画面2

カメラ設定ページが表示されます。



### STEP2

操作パネルのMENU [ON] ボタンをクリックします。

# PCからカメラ設定 (SET UP MENU) を操作する

## 画面3

SET UP MENUのトップページが表示されます。



## STEP3

操作パネルを操作して、SET UP MENUの項目を設定します。

SET UP MENUについての詳細は81～105ページをお読みください。

## STEP4

作業が終了したら、操作パネルのMENU [OFF] ボタンをクリックします。

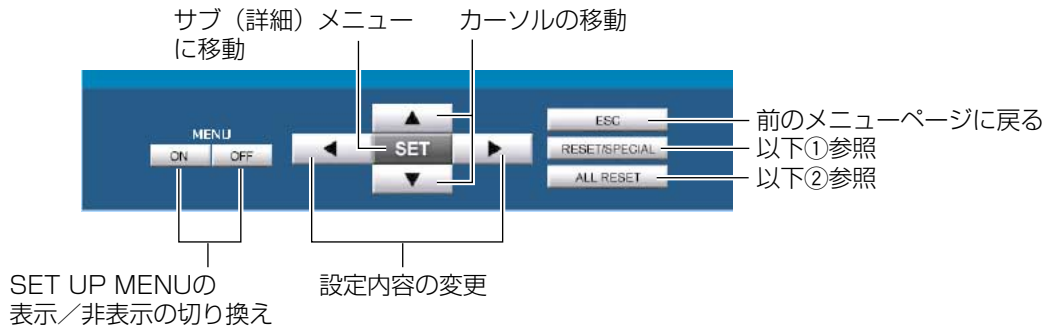
## STEP5

カメラ画像に戻りたいときは、[メインメニューへ]ボタンをクリックします。変更内容が本機に設定され、SET UP MENUが終了します。

**補足：** SET UP MENUを表示したまま [メインメニューへ] ボタンをクリックすると、SET UP MENUが表示された状態で、設定メニュー画面に戻ります。

# 操作パネルについて

各ボタンの役割は以下のとおりです。

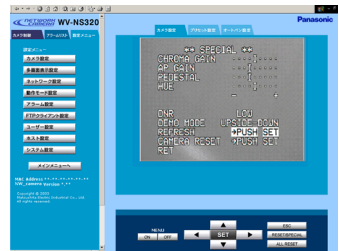


## ① [RESET/SPECIAL] ボタン

- カメラ特別メニュー [SPECIAL] (102ページ) の各設定項目にカーソルを合わせ、[RESET/SPECIAL] ボタンをクリックすると、設定内容がお買い上げの状態にリセットされます。



- カメラの位置がずれたとき、カメラ特別メニュー [SPECIAL] (102ページ) の「REFRESH」にカーソルを合わせ、[RESET/SPECIAL] ボタンをクリックすると、カメラの位置が補正されます。



- カメラ設定メニュー [CAMERA] (97ページ) の「SPECIAL」にカーソルを合わせ、[RESET/SPECIAL] ボタンをクリックすると、カメラ特別メニュー [SPECIAL] (102ページ) を表示することができます。



## ② [ALL RESET] ボタン

カメラ特別メニュー [SPECIAL] (102ページ) の「CAMERA RESET」にカーソルを合わせ、[ALL RESET] ボタンをクリックすると、プリセット設定、ネットワーク設定以外のSET UP MENUの設定内容がお買い上げの状態にリセットされます。



PCから操作する\*操作



# システム機器から操作する

---

ここでは、システム機器から本機を操作する方法について説明しています。  
本機にマトリクススイッチャーやフレームスイッチャーなどのシステム機器を接続し、操作します。システム機器によっては、別途コントローラーが必要な場合があります。



# SET UP MENUについて

本機をマトリクススイッチャーやフレームスイッチャーなどのシステム機器から操作する場合、あらかじめ、SET UP MENUで各項目を設定しておく必要があります。

SET UP MENUの操作は、モニター画面にSET UP MENUを表示して行います。

SET UP MENUの設定項目は以下のとおりです。

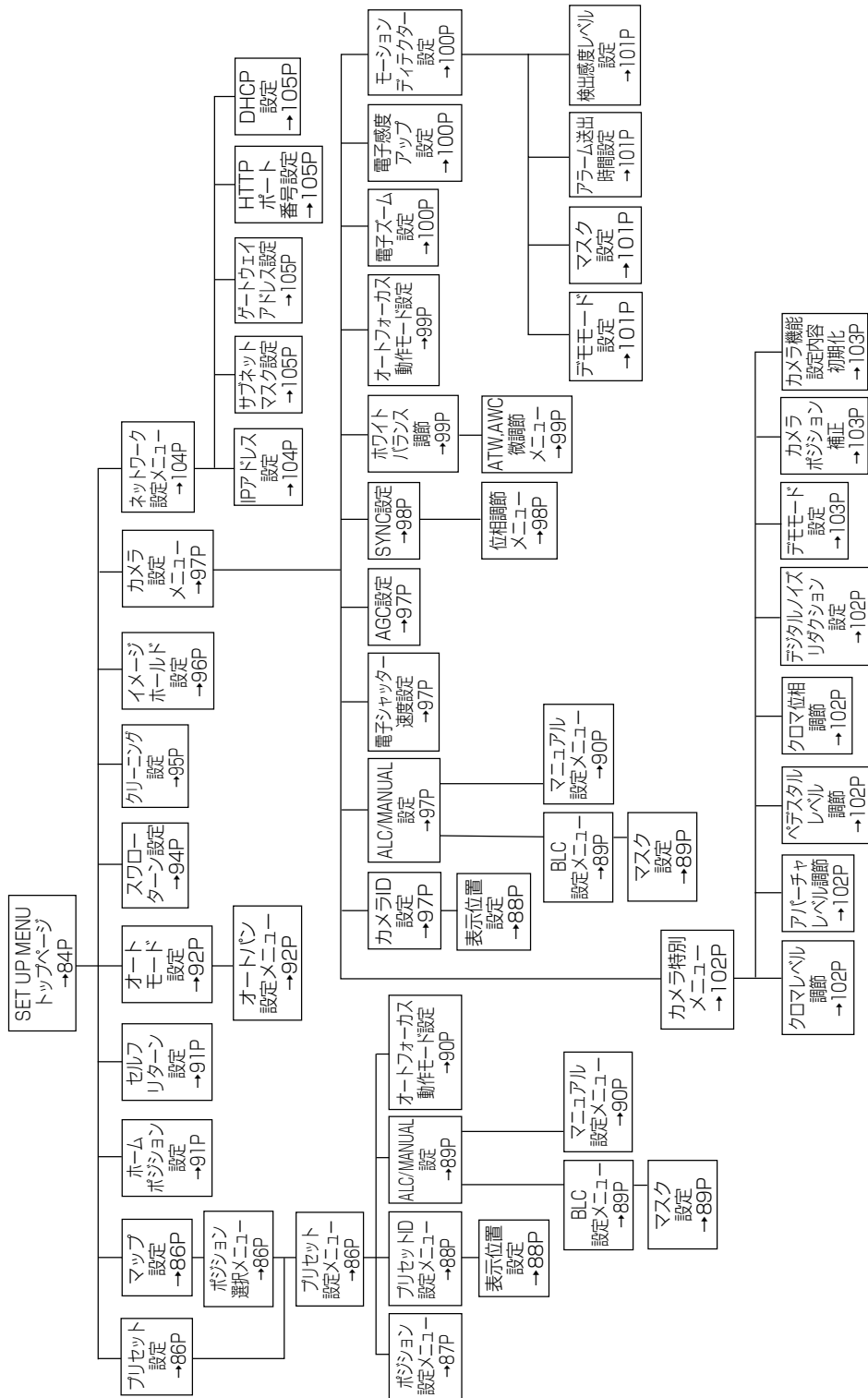
## SET UP MENU一覧

設定項目	概要
プリセット [PRESET]	プリセット番号ごとに撮影場所（プリセット位置）と撮影条件を設定します。本機は撮影場所を最大16か所まで登録できます。
マップ [MAP]	プリセット番号を選択するためのポジション選択メニューを表示します。ポジション選択メニューからプリセット番号を選択し、プリセット設定を行います。
ホームポジション [HOME POSITION]	手動で本機を操作した後、一定時間が経過すると自動的に戻る撮影場所（ホームポジション）を設定します。
セルフリターン [SELF RETURN]	手動で本機を操作した後、ホームポジションに戻るまでの時間を設定します。
オートモード [AUTO MODE]	カメラの動作モードを設定します。
スワローターン [SWALLOW TURN]	スワローターン機能のON/OFFを設定します。スワローターン機能を使用すると、垂直方向0°～180°をワンモーションで回転させることができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。
クリーニング [CLEANING]	クリーニング機能のON/OFFを設定します。
イメージホールド [IMAGE HOLD]	カメラの向きがプリセット位置へ移動するまで、移動前の画像を表示するかどうかをON/OFFで設定します。

# SET UP MENUについて

設定項目	概要
カメラ設定 [CAMERA]	カメラの動作設定を行います。選択するとカメラ設定メニューが表示されます。
カメラID [CAMERA ID]	カメラIDを設定します。カメラの設置場所などを英数字やカタカナで入力し、モニター画面に表示します。
レンズ絞り [ALC/MANUAL]	レンズの絞り方法を設定します。
電子シャッター [SHUTTER]	電子シャッターの速度を設定します。
ゲイン [AGC]	ゲインの調節方法を設定します。
同期 [SYNC]	同期方式を設定します。
ホワイトバランス [WHITE BAL]	ホワイトバランスの調節方法を設定します。
オートフォーカス [AF MODE]	オートフォーカスの動作モードを設定します。
電子ズーム [EL-ZOOM]	電子ズーム機能を設定します。
電子感度アップ [SENS UP]	電子感度アップを設定します。
モーションディテクター [MOTION DET]	モーションディテクター機能を設定します。
カメラ画質の調節 [SPECIAL]	カメラ特別メニューを表示してカメラの画質を調節します。
クロマレベル [CHROMA GAIN]	クロマレベル（色度）を調節します。
アパーチャレベル [AP GAIN]	アパーチャレベルを調節します。
ペDESTALレベル [PEDESTAL]	ペDESTALレベルを調節します。
クロマ位相 [HUE]	クロマ位相（色調）レベルを調節します。
デジタルノイズリダクション [DNR]	デジタルノイズリダクションを設定します。
デモモード [DEMO MODE]	画面を上下反転表示します。カメラを上下逆向きに机上に置いたときなどに使用します。
カメラポジションの位置補正 [REFRESH]	カメラの位置を補正します。
カメラリセット [CAMERA RESET]	カメラ機能の設定内容を初期化します。
ネットワーク設定 [NETWORK]	本機をネットワークに接続して使用するための設定を行います。
IPアドレス [IP ADDRESS]	IPアドレスを設定します。
サブネットマスク [NET MASK]	サブネットマスクを設定します。
ゲートウェイアドレス [GATE WAY]	ゲートウェイアドレスを設定します。
HTTPポート番号 [HTTP PORT NO.]	HTTPポート番号を設定します。
DHCP [DHCP]	DHCP機能に関する設定を行います。

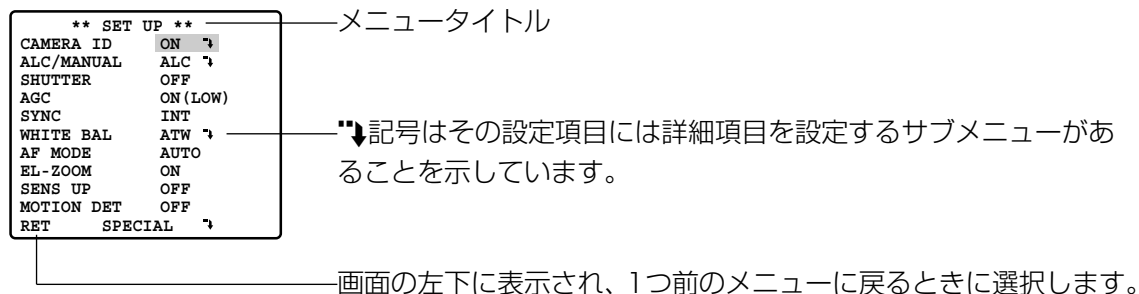
# SET UP MENUのメニュー構成



システム機器から操作する

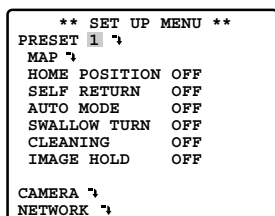
# SET UP MENUについて

## SET UP MENUの画面表示について



## SET UP MENU の表示のしかた

SETUP MENUのトップページの表示のしかたはシステム機器によって異なります。詳細は各システム機器の取扱説明書をお読みください。



SET UP MENUトップページ

### WV-CU550Cを使用する場合

- ① 設定するカメラ（本機）とSET UP MENUを表示するモニター番号を選択します。
- ② カーソルキーを使い、「D4」メニューを表示します。
- ③ F1キーを押します。

### WV-CU360Cを使用する場合

カメラ設定キーを約2秒以上押し続けます。

### WV-CU161Cを使用する場合

カメラ設定ボタンを約2秒以上押し続けます。

### WV-RM70を使用する場合

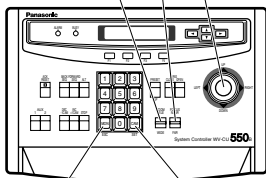
- ① 機能切換スイッチを「NORMAL」または「ALARM OFF」にします。
- ② プログラムスイッチを約2秒以上押し続けます。
- ③ カーソルを「Camera Set Up」に合わせ、設定スイッチを押します。

## システム機器別の操作のしかた

設定時の操作内容と使用するキー（スイッチ）は次のとおりです。コントローラーにより異なりますのでご注意ください。詳細はコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

### [WV-CU550C]

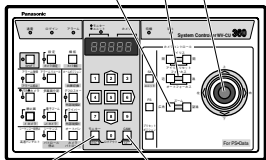
ジョイスティックつまみ  
FOCUSスイッチ  
ZOOMスイッチ



MON (ESC) キー  
CAM (SET) キー

### [WV-CU360C]

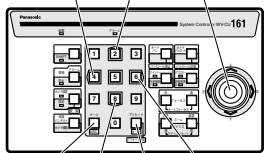
ジョイスティックつまみ  
フォーカススイッチ  
ズームスイッチ



モニター (ESC) キー  
カメラ (セット) キー

### [WV-CU161C]

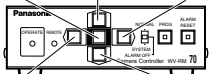
ジョイスティックつまみ  
上方向ボタン  
左方向ボタン



ホーム (ESC) ボタン  
下方向 ボタン  
右方向 ボタン  
セット ボタン

### [WV-RM70]

上方向スイッチ  
設定 スイッチ  
右方向 スイッチ



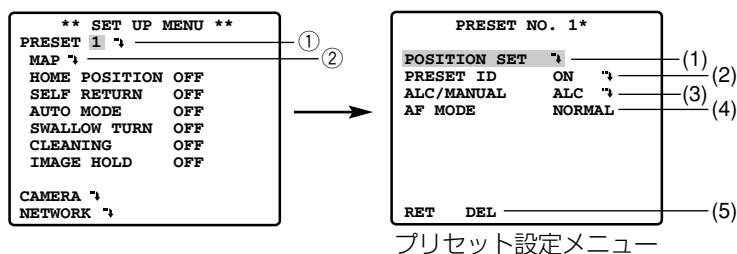
左方向 スイッチ  
下方向 スイッチ

	WV-CU550C	WV-CU360C	WV-CU161C	WV-RM70
カーソル移動	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	テンキーの上下左右方向スイッチ	上下左右方向スイッチ
設定内容の切換	ジョイスティックつまみ (左右)	ジョイスティックつまみ (左右)	テンキーの左右方向スイッチ	左右方向スイッチ
レベルの調整	ジョイスティックつまみ (左右)	ジョイスティックつまみ (左右)	テンキーの左右方向スイッチ	左右方向スイッチ
カメラの向き (水平垂直位置)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	ジョイスティックつまみ (上下左右)	上下左右方向スイッチ
レンズのズームフォーカス調整	ZOOM、FOCUS スイッチ	ズーム、フォーカス スイッチ	ZOOM、FOCUS スイッチ	上下左右方向スイッチ
設定内容の確定	CAM (SET) キー	カメラ (セット) キー	セット ボタン	設定スイッチ
サブメニュー表示	CAM (SET) キー	カメラ (セット) キー	セット ボタン	設定スイッチ
プリセットID、カメラID表示位置決定	MON (ESC) キー	モニター (ESC) キー	ホーム (ESC) ボタン	設定スイッチ (長押し)
マスク設定の確定	MON (ESC) キー	モニター (ESC) キー	ホーム (ESC) ボタン	設定スイッチ (長押し)

**重要!**：変更した設定内容は、他の項目にカーソルを移動するか、別のメニューに切り換わったときに確定します。設定内容を変更した状態でSET UP MENUを消すと、その操作は無効となります。

# プリセットポジションの設定

プリセット番号を設定し、プリセット番号ごとに撮影場所・撮影条件を設定します。プリセット番号の選択のしかたは次の2通りの方法があります。プリセットポジションの詳細設定は、プリセット番号ごとにプリセット設定メニューで行います。



## ①プリセット番号を直接指定して設定する [PRESET]

プリセット番号を直接指定して、撮影場所やレンズのズーム・フォーカス位置などをプリセット設定メニューで設定します。

「PRESET」にカーソルを合わせ、プリセット番号を直接指定します。

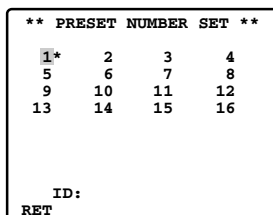
指定すると、プリセット設定メニューが表示されます。

## ②ポジション選択メニューからプリセット番号を指定して設定する [MAP]

プリセット番号を選択するポジション選択メニュー（下記画面）を表示します。ポジション選択メニューでプリセット番号を選択してから、撮影場所やレンズのズーム・フォーカス位置などをプリセット設定メニューで設定します。

設定したいプリセット番号にカーソルを合わせ、プリセット番号を選択します。

選択すると、プリセット設定メニューが表示されます。



ポジション選択メニュー

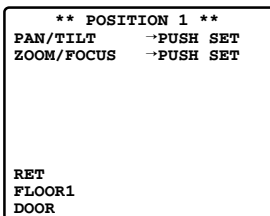
### 補足

- プリセット番号右側の「\*」印は、プリセットが設定されていることを示します。ホームポジション（91ページ）に設定されている場合は、\*印の横に「H」印が表示されます。
- プリセットIDが登録されているプリセット番号にカーソルを合わせると、「ID:」欄にプリセットIDが表示されます。

## (1) 撮影場所を設定する [POSITION SET]

カメラの向き（水平・垂直位置）、レンズのズーム・フォーカスを設定します。

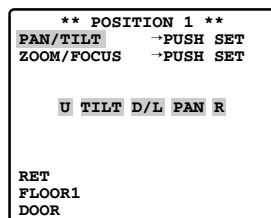
プリセット設定メニューで [POSITION SET] を選択すると、ポジション設定メニューが表示されます。



ポジション設定メニュー

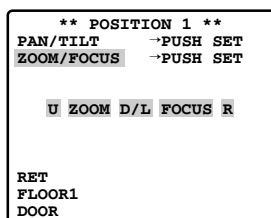
PAN/TILT

: カメラの向き（水平・垂直位置）を調節します。選択すると、画面が以下のように切り換わります。



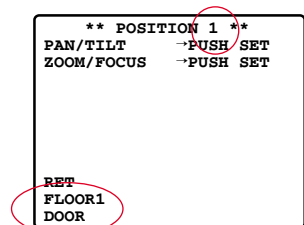
ZOOM/FOCUS

: レンズのズーム・フォーカスを調節します。選択すると、画面が以下のように切り換わります。



### 補足

- 水平に近い角度で使用する場合、フォーカス調整があまくなる場合がありますのでご注意ください。
- ポジション設定メニュー上部のプリセット番号でプリセット番号を選択することもできます。プリセット番号を選択して、撮影場所を設定することができます。
- カメラID、プリセットIDが登録されているとポジション設定メニュー下部にカメラID、プリセットIDが表示されます。



# プリセットポジションの設定

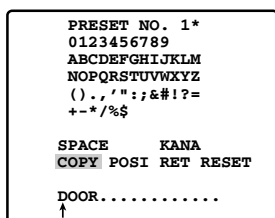
## (2) プリセットIDを設定する [PRESET ID]

プリセットIDを設定します。プリセットIDとはカメラが撮影する場所を英数字、記号、カタカナで表したもので、モニター上に表示することができます。

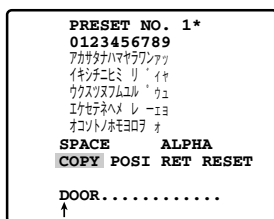
ON : 表示する

OFF : 表示しない

「ON」に設定すると、プリセットID設定メニューが表示されます。



プリセットID設定メニュー  
(英数)



プリセットID設定メニュー  
(かな)

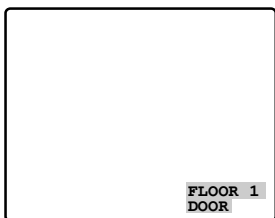
①カーソルを移動して入力したい文字を設定します。

### 補足

- 空白スペースを入力したいときは「SPACE」を選択します。
- カタカナを入力したいときは「KANA」を選択します。プリセットID設定メニューのアルファベット部分がカタカナ表示に変わります。「ALPHA」を選択すると、アルファベット表示に戻ります。
- 他のプリセット番号で設定したIDをコピーするときは「COPY」を選択します。ひとつ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。続けてCAM (SET) キーを押すと、もう一つ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。
- 入力した文字を消去するときは「RESET」を選択します。
- 入力した文字を修正するときは記号作成領域にカーソルを移動します。次にカーソルを左または右に動かして修正したい文字に「↑」を合わせ、文字を入力し直します。

②「POSI」を選択します。  
左の画面が表示されます。

③プリセットIDの表示位置を設定します。  
プリセットIDの表示位置が決定し、プリセットID設定メニューに戻ります。



**補足：**プリセットID設定メニュー上部のプリセット番号でプリセット番号を選択して、続けて別のプリセットIDの設定を行うことができます。



### (3) レンズの絞り方法を設定する [ALC/MANUAL]

カメラレンズの絞り方法を設定します。

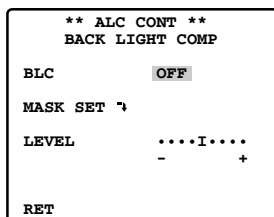
ALC : 被写体の明るさに応じて自動でレンズの絞りを調節します。

MANUAL : 設定値にレンズの絞りを固定します。

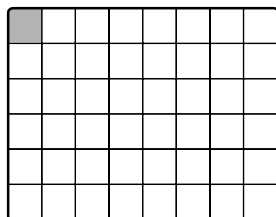
「ALC」に設定すると、BLC設定メニューが表示され、逆光補正の設定を行います。

#### 逆光補正 (BLC) について

BLCは逆光補正機能です。被写体の背景にスポットライトのような明るい照明があると、カメラは明るい部分に合わせて絞りを設定してしまうため、被写体が暗くなります。この現象を解消するために、背景の明るい部分にマスクをかけ、明るい部分を検出しないように設定します。逆光補正には、カメラ側で光の状態を検出して自動的に補正を行うBLC ON モードと検出範囲を自分で設定する BLC OFFモードがあります。



BLC設定メニュー



マスク設定画面

#### ① BLCのON/OFFを選択します。

ON : 自動的に逆光補正を行います (④へ)

OFF : 光の検出範囲を自分で設定します (②へ)

#### ② [MASK SET] を選択します。

左のマスク設定画面が表示され、左上のブロックが点滅表示します。

#### ③ 背景の明るい部分のブロックにマスクを設定し、その部分の明るさを認識しないようにします

操作方法は次のとおりです。

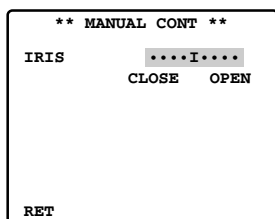
1. 点滅表示を動かしてマスク設定したいブロックに合わせます。
2. 点滅表示の位置を確定しマスクを設定します。  
マスクが設定されているブロックに点滅表示を合わせると、横縞と白の交互表示になります。この状態で位置を確定すると、設定されていたマスクが解除されます。

#### ④ 「LEVEL」の項目にカーソルを合わせて、映像出力レベル（映像のコントラスト）を調整します

手順1で「ON」に設定した場合、レベルを少し上げ気味にすると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像やノイズが多くなる場合があります。

# プリセットポジションの設定

「MANUAL」に設定すると、マニュアル設定メニューが表示されます。カーソルを動かして、レンズの絞りを調節します。



マニュアル設定メニュー

## (4)オートフォーカスの動作モードを設定する [AF MODE]

プリセットポジションへの移動後、オートフォーカスを働かせるかどうかを設定します。

NORMAL : プリセットポジションへの移動完了後、オートフォーカスが働きません

AUTO : プリセットポジションへの移動完了後、オートフォーカスが自動的に働きます

**補足**：以下のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わせられません。手動操作でピントを合わせてください。

- (例) ・輝いたり、強い光が反射する被写体  
・水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体  
・遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合  
・白い壁など、明暗差のない被写体  
・ブラインドなど、横じまの被写体  
・斜めの被写体  
・暗い被写体

また、オートフォーカスは画面の中央部にある被写体に対してピントを合わせますので、画面の周辺にある被写体にはピントが合いません。

## (5)設定したプリセットポジションを削除する [DEL]

「DEL」を選択し、CAM (SET) キー (WV-CU550Cの場合) を押すと、そのプリセット番号の設定内容が削除され、ポジション選択メニューが表示されます。

# ホームポジションの設定

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
SWALLOW TURN OFF
CLEANING OFF
IMAGE HOLD OFF
CAMERA ↵
NETWORK ↵
```

手動での操作終了後に一定時間を経過すると、カメラの位置を指定したプリセットポジションへ自動的に戻すことができます。この自動的に戻るカメラ位置をホームポジション（HOME POSITION）と呼びます。

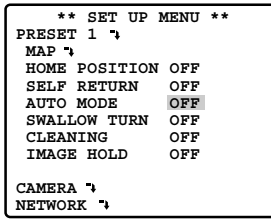
ここでは、ホームポジションと手動操作終了後にホームポジションへ戻るまでの経過時間（SELF RETURN）を設定します。

HOME POSITION : ホームポジションに設定したいプリセット番号を選択します

SELF RETURN : 手動操作終了後にホームポジションに戻るまでの時間を以下から選択します。  
1 MIN/2MIN/3MIN/5MIN/10MIN/  
20MIN/30MIN/60MIN/OFF  
(MIN : 分)

**補足** : ホームポジション機能を働かせるには、オートモードの設定（次ページ）を「OFF」にしてください。オートモードの設定が「AUTO PAN」のときはホームポジション機能が働かず、SELF RETURNの設定内容は手動操作後にオートモードへ自動復帰する時間となります。

# オートモードの設定 [AUTO MODE]



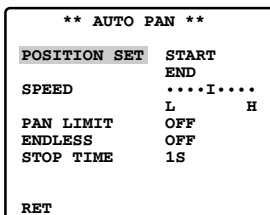
カメラの動作モードを設定します。

OFF : 手動操作のみで動作します。

AUTO PAN : 設定したパンの範囲内を自動的に旋回します。  
選択すると、オートパン設定メニューが表示されます。

## オートパンの詳細内容を設定する

パンの開始位置や終了位置など、オートパンの詳細内容を設定します。



オートパン設定メニュー

POSITION SET : パンの開始位置と終了位置を設定します。「START」と「END」のそれぞれにカーソルを移動し、カメラの向きを設定して、開始位置と終了位置を設定します。

SPEED : パンの回転速度を調節します。

PAN LIMIT : パンリミットのON/OFFを設定します。「ON」に設定すると、手動操作時にオートパン設定範囲外へカメラを向けることができません。90°までの垂直動作となります。

ENDLESS : エンドレス旋回のON/OFFを設定します。「ON」に設定すると、開始位置から終了位置に向かってパン旋回し、次に同じ方向に旋回して終了位置から開始位置に戻ります。

「OFF」に設定すると、開始位置から終了位置に向かってパン旋回し、次に逆方向に旋回して終了位置から開始位置に戻ります。

STOP TIME : 開始位置、終了位置での停止時間を以下から選択します。

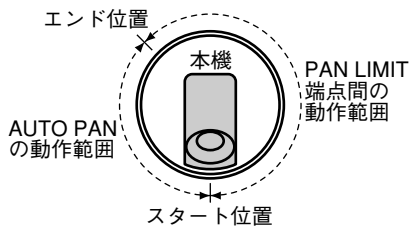
2S/3S/5S/10S/20S/30S

(S : 秒)

---

## 補足

- スタート位置からエンド位置までの端点間の反対側をPAN LIMIT端点間といいます。



- オートパン動作時にPAN/TILTやZOOM/FOCUSを手動操作すると、オートモードは解除されます。ただし、SET UP MENU上の設定は変更されませんので、一度SET UP MENUを開いてから閉じるか、SELF RETURNの設定時間（91ページ）を経過するとオートモード機能が働き始めます。

# スワローターン機能の設定 [SWALLOW TURN]

```

** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
SWALLOW TURN OFF
CLEANING OFF
IMAGE HOLD OFF

CAMERA ↵
NETWORK ↵

```

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、スワローターン機能を使用すると垂直方向0°～180°をワンモーションで回転することができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。

- ON : スワローターン機能を使用します。[PAN LIMIT] が「ON」に設定されているときは、92°までの回転となります。
- OFF : スワローターン機能を使用しません。垂直方向0°～92°の範囲で回転します。

# クリーニング機能の設定 [CLEANING]

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
SWALLOW TURN OFF
CLEANING OFF
IMAGE HOLD OFF

CAMERA ↵
NETWORK ↵
```

本機ではスリップリングと呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、画質の劣化やノイズが発生することがあります。

クリーニング機能を使用すると、約1週間ごとにクリーニング機能が働き、スリップリングの汚れを除去することができます。クリーニング機能が働いているときは、画面中央に「クリーニング」の文字が表示されます。

- ON : クリーニング機能を設定します
- OFF : クリーニング機能を設定しません

**補足**：システム機器とデータのアップロード、ダウンロードをするときは、クリーニング機能を「OFF」にしてください。途中でクリーニング機能が働くと、アップロード、ダウンロードが失敗します。

# イメージホールドの設定 [IMAGE HOLD]

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN  OFF
AUTO MODE    OFF
SWALLOW TURN OFF
CLEANING     OFF
IMAGE HOLD   OFF
CAMERA ↵
NETWORK ↵
```

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了するまで、移動前の映像を静止画で表示する設定です。ネットワーク経由でカメラ映像を監視するときに便利です。

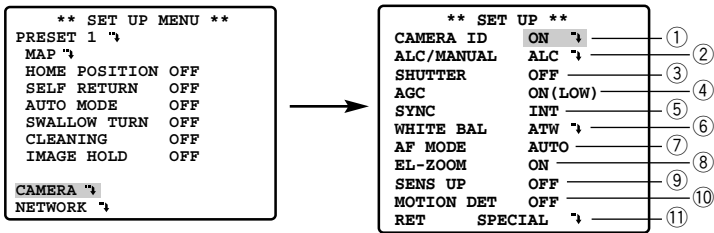
ON : プリセットポジションの移動が完了するまで、移動前の映像を静止画で表示します

OFF : プリセットポジションの移動中もそのままの映像を表示します



# カメラ機能の設定 [CAMERA]

カメラの動作設定を行います。  
設定はカメラ設定メニューで行います。



カメラ設定メニュー

## ①カメラIDを設定する [CAMERA ID]

カメラIDを設定します。カメラの設置場所などを英数字やカタカナで入力し、モニター画面に表示します。

「ON」に設定すると、カメラIDの設定画面が表示されます。

設定方法はプリセットIDの設定と同じです。88ページをお読みください。

## ②レンズ絞り方法を設定する [ALC/MANUAL]

レンズの絞り方法を設定します。設定方法はプリセット設定の「レンズの絞り方法を設定する」と同じです。89ページをお読みください。

ただし、「MANUAL」に設定した場合のアイリスの調節は、コントローラーのアイリススイッチで行います。マニュアル設定メニューで設定できません。

## ③電子シャッター速度を設定する [SHUTTER]

電子シャッターの速度を以下から選択します。

OFF、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/1200、1/4000、1/10000

## ④ゲイン調節方法を設定する [AGC]

ゲインの調節方法を以下から選択します。

ON (LOW) : ゲインの調節を自動で行い撮影します (ゲイン小)

ON (MID) : ゲインの調節を自動で行い撮影します (ゲイン中)

ON (HIGH) : ゲインの調節を自動で行い撮影します (ゲイン大)

OFF : ゲインを常に固定した状態で撮影します

**補足：**「ON」に設定すると、低照度で自動的にノイズリダクションが動きノイズが低減されます。ただし、動きのある被写体やパン・チルト操作によって残像が発生する場合があります。

# カメラ機能の設定 [CAMERA]

## ⑤同期方式を設定する [SYNC]

本機は次に示す3種類の同期方式に対応しています。また、記載順序は同期方式の優先順位を表しています。

- 1 多重化垂直ドライブ信号 (VD2)
- 2 内部同期信号 (INT)
- 3 電源同期信号 (LL)

多重化垂直ドライブ信号 (VD2) が入力された場合は、カメラが他の同期方式に設定してある場合でも、自動的にVD2同期に切り換わります。この場合、カメラ設定メニューには「EXT (VD2)」と表示され、内部同期 (INT) および電源同期 (LL) へは切り換えられません。

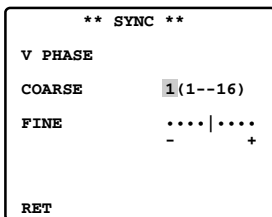
同期方式は以下のどちらかを選択します。

INT : 内部同期 (同期信号は入力されません。本機が生成した内部同期信号で他の機器と同期を合わせます)

LL : 電気同期

LLを選択すると、位相調節メニューが表示され詳細設定を行えます。

※50 Hz地域では使用できません。



位相調節メニュー

調節するカメラの映像信号と基準となるカメラの映像出力信号を、二重トレースオシロスコープに接続してください。

オシロスコープは垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大してください。

COARSE : 垂直位相を16段階で粗調節します

FINE : 垂直位相を微調節します

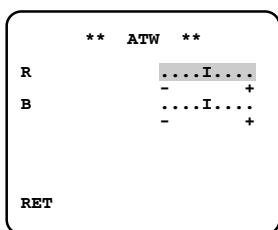
## ⑥ ホワイトバランスの調節方法を設定する [WHITE BAL]

ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。

ATW：自動的に色温度を追尾してホワイトバランスを自動調節します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、自動的に調節します。

「ATW」を選択すると、以下の画面が表示され微調節できます。

AWC：ホワイトバランスを自動調節します。「AWC」を選択するには、表示を「AWC→PUSH SW」に切り換えます。設定するとホワイトバランスの調節が始まります。調節中「PUSH SW」は反転表示になります。反転表示が終わると、ホワイトバランスの調節は完了です。完了後、再度「AWC」を選択すると、以下の画面が表示され微調節できます。



ATW、AWC微調整メニュー

R：赤色の割合を調節します。カーソルを+の方向に動かすと濃くなり、-の方向に動かすと薄くなります。

B：青色の割合を調節します。カーソルを+の方向に動かすと濃くなり、-の方向に動かすと薄くなります。

## ⑦ オートフォーカスの動作モードを設定する [AF MODE]

オートフォーカスの動作モードを設定します。

NORMAL：システム機器のオートフォーカススイッチを押したときに、オートフォーカスが働きます

AUTO：手動によるパン、チルト、ズーム操作時に自動的にオートフォーカスが働きます。「NORMAL」設定時と同じように、システム機器のオートフォーカススイッチを押して、動作させることもできます。

**補足：**以下のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わせられません。手動操作でピントを合わせてください。

- (例)
- ・輝いたり、強い光が反射する被写体
  - ・水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
  - ・遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
  - ・白い壁など、明暗差のない被写体
  - ・ブラインドなど、横じまの被写体
  - ・斜めの被写体
  - ・暗い被写体

また、オートフォーカスは画面の中央部にある被写体に対してピントを合わせますので、画面の周辺にある被写体にはピントが合いません。

# カメラ機能の設定 [CAMERA]

## ⑧電子ズーム機能を設定する [EL-ZOOM]

電子ズーム機能のON/OFFを設定します。本機には10倍のズームレンズが搭載されていますが、電子ズーム機能を使用すれば、約50倍まで倍率を変えることができます。

- ON : 電子ズーム機能を使用します  
OFF : 電子ズーム機能を使用しません

### 補足

- ・電子ズームの倍率を上げると画質が悪化します。
- ・電子ズーム機能はプリセットポジション設定では動きません。
- ・WJ-SX777BやWV-CU360Cによるプリセットのダイレクト設定時は、一時的に電子ズーム機能を「OFF」にすることが必要です。

## ⑨電子感度アップを設定する [SENS UP]

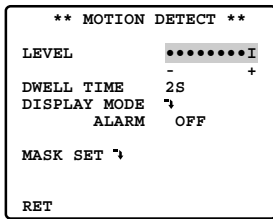
電子感度アップ機能を設定します。電子感度アップは、レンズ絞りの方法が「ALC」(89ページ)、電子シャッター速度が「OFF」または「1/100」に設定されているときのみ設定できません。ただし、「1/100」に設定されているときは、「X2 FIX」、「X4 FIX」には設定できません。

- OFF : 電子感度アップを設定しません  
X2 AUTO : 2倍までの間で自動的に感度を上げます  
X4 AUTO : 4倍までの間で自動的に感度を上げます  
X2 FIX : 2倍に感度を上げます  
X4 FIX : 4倍に感度を上げます

## ⑩モーションディテクター機能を設定する [MOTION DET]

モーションディテクター機能とは、1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識することで、撮影場所の映像に変化(動き)が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。モーションディテクター機能のON/OFFを設定し、ONに設定した場合はモーションディテクターの詳細設定を行います。

- ON : モーションディテクター機能を使用します。設定すると、モーションディテクター設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。  
OFF : モーションディテクター機能を使用しません



モーションディテクター設定メニュー

LEVEL：モーションディテクター機能の検出感度レベルを設定します。+方向に動かすと感度が上がり、-方向に動かすと感度が下がります。

<検出条件について>

被写体の大きさ：動く物体は画面の1/48ブロック以上の大きさが必要。

被写体のコントラスト：背景画像と動く物体のコントラスト比が5%（最大感度設定時）以上必要。

被写体の動く速さ：画面の端から端を物体が通過する時間が0.1秒～0.8秒必要。それよりも速く、または遅く動く物体は検出できません。

**重要！**：コントラスト比が十分な場合は、大きさ・動く速さの制限は緩和されます。

DWELL TIME：アラーム信号の送出時間を以下から選択します。  
2S/5S/10S/30S

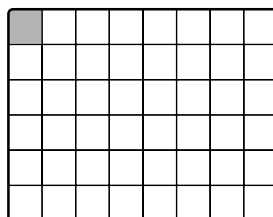
DISPLAY MODE

：デモモードを実行します。デモモードとは、1画面を48ブロックに分割した状態で輝度変化の検出を行い、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。このデモモードでの結果をもとに、検出感度レベルの調節や検出範囲の設定を行います。

ALARM：デモモード時にアラームを出力するかどうかをON/OFFで設定します。

MASK SET

：モーションディテクターの検出範囲を設定します。映像変化（動き）を検出しないエリアにマスクを設定します。「MASK SET」を選択すると、マスク設定画面が表示されます。マスクの設定しかたは「レンズの絞り方法を設定する」と同じです。89ページをお読みください。

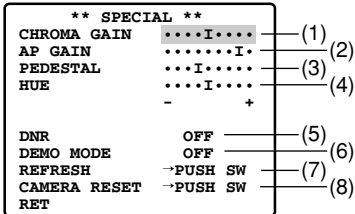


マスク設定画面

# カメラ機能の設定 [CAMERA]

## ①カメラの画質を調節する [SPECIAL]

カメラ特別メニューを表示してカメラの画質を調節します。「SPECIAL」を選択すると以下のカメラ特別メニューが表示されます。



カメラ特別メニュー

### (1) クロマレベル（色度）を調節する [CHROMA GAIN]

カーソルを左右に動かしてクロマレベル（色の濃さ）を調節します。ベクトル色度指示器がカラービデオモニターを見ながら調節してください。

### (2) アパーチャレベルを調節する [AP GAIN]

カーソルを左右に動かしてアパーチャレベル（画像のシャープネス）を調節します。-方向に動かすとソフトな画面に、+方向に動かすとシャープな画面になります。カラービデオモニターを見ながら調節してください。

### (3) ペDESTALレベルを調節する [PEDESTAL]

カーソルを左右に動かして、ペDESTALレベル（画像の明るさ）を調節します。-方向に動かすと暗い画面に、+方向に動かすと明るい画面になります。

### (4) クロマ位相（色調）を調節する [HUE]

カーソルを左右に動かしてクロマ位相レベル（色合い）を調節します。ベクトル色度指示器がカラービデオモニターを見ながら調節してください。

### (5) デジタルノイズリダクションを設定する [DNR]

デジタルノイズリダクションを設定します。デジタルノイズリダクションを設定すると、低照度で自動的にノイズリダクション機能が働き、ノイズが低減されます。ただし、動きのある被写体で残像が発生することがあります。

HIGH : 被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げて画面を明るくします

LOW : 「HIGH」に設定して残像が気になる場合に設定します。ただし、「HIGH」に比べ、若干ノイズが増加します。

## (6) デモモードを設定する [DEMO MODE]

画像を上下反転表示するかどうかをON/OFF で設定します。

カメラを机上に置くなどカメラを逆向きに設置する場合に使用する機能です。

## (7) カメラポジションの位置を補正する [REFRESH]

カメラポジションの位置がずれたときに使用します。

操作方法はシステム機器によって以下のようになります。

WV-CU550Cの場合 : 「PUSH SET」にカーソルを合わせ、F2 キーを押す

WV-CU360Cの場合 : 「PUSH SET」にカーソルを合わせ、テンキーの左右キーを同時に約2秒間押す

WV-CU161Cの場合 : 「PUSH SET」にカーソルを合わせ、テンキーの左右キーを同時に約2秒間押す

WV-RM70の場合 : 「PUSH SET」にカーソルを合わせ、左右キーを同時に約2秒間押す

## (8) カメラ機能の設定内容を初期化する [CAMERA RESET]

カメラ機能の設定内容を工場出荷時の状態に初期化します。

操作方法はシステム機器によって以下のようになります。

WV-CU550Cの場合 : 「PUSH SET」にカーソルを合わせ、F3 キーを押す

WV-CU360Cの場合 : 「PUSH SET」にカーソルを合わせ、テンキーの左右キーと [5] キーを同時に押し続ける

WV-CU161Cの場合 : 「PUSH SET」にカーソルを合わせ、テンキーの左右キーと設定スイッチを同時に押し続ける

WV-RM70の場合 : 「PUSH SET」にカーソルを合わせ、テンキーの左右キーと設定スイッチを同時に押し続ける

**補足** : クロマレベル、アパーチャレベル、ペDESTALレベル、クロマ位相レベルの設定時に、各設定項目にカーソルを合わせた状態で次の操作をすると、それぞれの設定値を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

WV-CU550C : F2キーを押します

WV-CU360C : テンキーの左右キーを約2秒間同時に押します

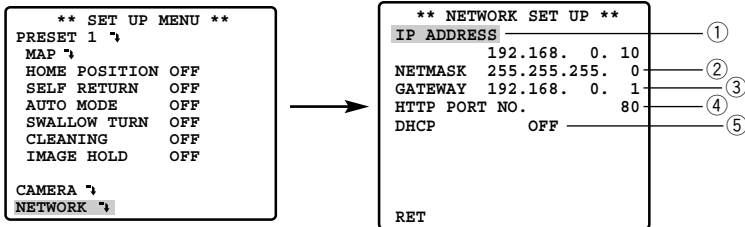
WV-CU161C : テンキーの左右キーを約2秒間同時に押します

WV-RM70 : 左右キーを同時に押しつづけます

# ネットワーク機能の設定 [NETWORK]

ネットワークに関する設定を行います。本機をネットワークに接続する場合、IPアドレスなどネットワーク接続に必要な情報を必ず設定してください。

設定はネットワーク設定メニューで行います。



ネットワーク設定メニュー

## 補足：

- DNSサーバーを使用する場合、この画面で設定することはできません。PCから設定メニューのネットワーク設定ページにアクセスして設定してください。
- 設定を始める前に、ネットワーク管理者またはご利用のインターネット・サービス・プロバイダー(ISP)に、利用可能なIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを確認してください。
- インターネット経由で接続する場合、IPアドレスにグローバルアドレスを設定する必要があります。ISP経由で接続する場合、割り当てられているアドレスが、グローバルアドレスかどうか確認してください。
- お買い上げ時、以下のように設定されています。

IP ADDRESS : 192.168.0.10  
NETMASK : 255.255.255.0  
GATEWAY : 192.168.0.1  
HTTP PORT NO. : 80  
DHCP : OFF

## ①IPアドレスを設定する [IP ADDRESS]

IPアドレスを設定します。本機は、1～255までの10進数を4つに区切って入力します。指定されたアドレスを入力してください。



---

## ②サブネットマスクを設定する [NET MASK]

サブネットマスクを設定します。IPアドレスと同様に、1～255までの10進数を4つに区切って入力します。指定された値を入力してください。

## ③ゲートウェイアドレスを設定する [GATE WAY]

ゲートウェイのアドレスを設定します。IPアドレスと同様に、1～255までの10進数を4つに区切って入力します。指定されたアドレスを入力してください。

## ④HTTPポート番号を設定する [HTTP PORT NO.]

ネットワークに画像を送信する際に使用するHTTPポートの番号を設定します。指定された番号を入力してください。

### 重要！

- ・ポート番号は、システムで使用していない番号を設定してください。
- ・ポート番号の変更は必ずネットワーク管理者が行ってください。他の機能で使用しているポート番号に設定した場合、ネットワークに接続できなくなる場合があります。

## ⑤DHCP機能を設定する [DHCP]

DHCPクライアント機能を使用して、DHCPサーバーから各種アドレスを取得するかどうかをON/OFFで設定します。

- ON : DHCPクライアント機能を使用する  
OFF : DHCPクライアント機能を使用しない

**重要！** : DHCPを「ON」に設定して、DHCPサーバーからIPアドレスなどが取得できていない場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの表示が「0.0.0.0」になります。



# 工事

---

ここでは、本機とシステム機器の接続のしかたや本機の設置方法などについて説明しています。

PCから本機を使用する場合の接続方法やネットワークの設定については「PCから操作する」（16ページ）に記載しています。

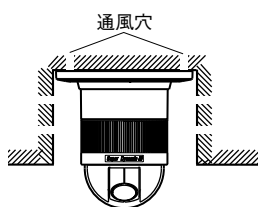
# 設置上のお願い

## ⚠ 警告

工事は必ず販売店に依頼してください。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- カメラは水平（ドーム下向き）に取り付けてください
- 防水性について  
本機の防水性はJIS 保護等級で防滴Ⅱ形です。軒下への設置が限界ですので、雨が直接当たるような場所には設置しないでください。
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化するところには設置しないでください  
ドームカバーが曇ったり、結露する場合があります。

- 放熱について  
本機は、カメラ本体部表面より放熱をさせています。  
壁などに囲まれ、熱がこもる場所に設置するときは、通風穴を設けてください。



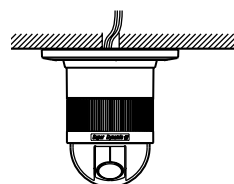
- カメラの取付場所について
  - ・強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
  - ・強度が不十分な天井（二重天井など）に取り付ける場合は、別売のカメラ天井直付金具 WV-Q105、またはカメラ天井埋込金具 WV-Q106を使用してください。
  - ・天井から吊り下げて取り付ける場合は、別売のカメラ天井吊り下げ金具 WV-Q107Aを使用してください。
  - ・壁に取り付ける場合は、別売のカメラ壁取付金具 WV-Q108Aを使用してください。

- 取付ねじは、別途ご用意ください  
本機を取り付けるねじは付属されていません。取付場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。

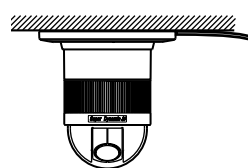
- カメラの電源が入/切できるように電源工事をしてください  
本機には電源スイッチがありませんので、電源プラグをコンセントに差し込むと電源が投入されます。電源工事の際は、カメラの電源を入/切できるようにしてください。本機は、電源投入時にセルフクリーニング機能（PAN/TILT/ZOOM/FOCUS動作）が働くようになっています。

- ケーブル類（電源、映像出力、ネットワーク、アラーム入力、アラーム出力）の配線について  
本機のケーブル類は、天面および側面から引き出して配線することができます。

- ・天面から引き出す場合は、天井に線材を通す穴を開けてください。（109ページ）



- ・側面から引き出す場合は、カメラ本体のダイカストケースと飾りカバーを加工してください。（109ページ、本機と飾りカバーを加工する）



# 設置上のお願い

---

## ●湿度に注意してください

湿度の高いときに本機の設置を行うと、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。曇ったときは湿度の低いときにドームカバーを外し、内部の湿気を出してから設置してください。(12ページ)

## ●ネットワーク接続について

本機のネットワークケーブルを使ってネットワークに接続するときは、以下の注意が必要です。

- ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。
- 回転台と組み合わせて使用することはできません。

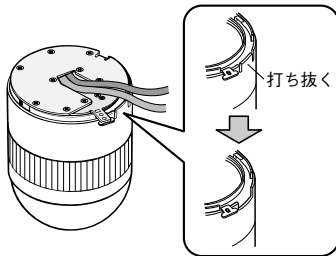
# カメラを設置する

## 本機と飾りカバーを加工する（線材を側面から引き出す場合）

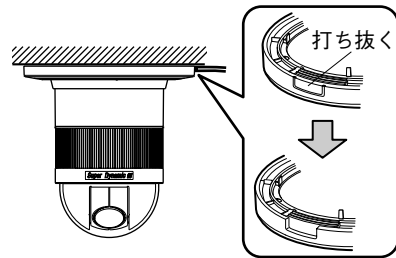
本機のケーブル類（電源、映像出力、ネットワーク、アラーム入力、アラーム出力）を側面から引き出して、天井または壁面に配線する場合は、カメラ本体と飾りカバーを次のように加工してください。

カメラ本体を加工するには、ベースユニットを外す必要があります。ベースユニットの取り外しかたは、下記手順1、2をご覧ください。

【カメラ本体ダイカストケースの加工】

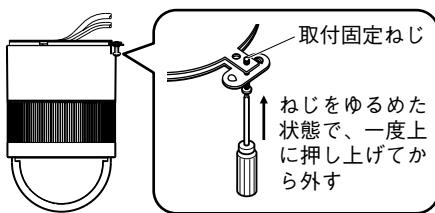


【飾りカバーの加工】

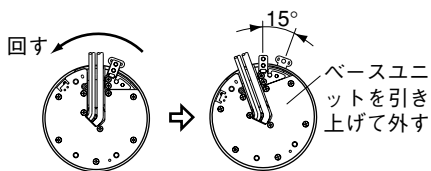


## カメラを取り付ける

- ・取付場所は、カメラの総質量に耐えられる場所にしてください。強度が不十分ですと、落下によるけがの原因となります。
- ・別売の取付金具を使用してカメラを取り付ける場合は、使用する取付金具の取扱説明書をご覧ください。

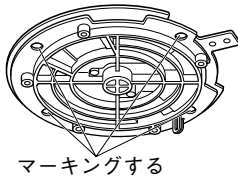


- ①カメラ本体とベースユニットを固定している取付固定ねじを外します。  
取付固定ねじは紛失しないように注意してください。

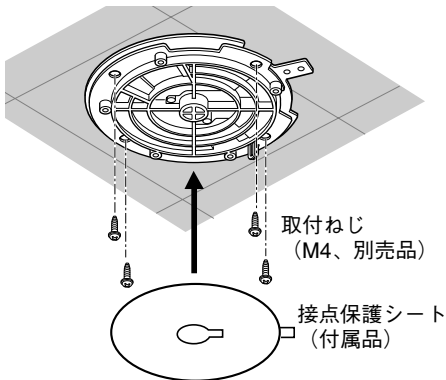


- ②ベースユニットを矢印の方向に回して取り外します。

# カメラを設置する

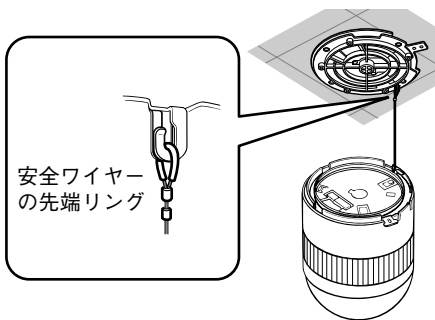


- ③ベースユニットを型紙代わりに利用して、取付ねじ用の穴位置（4ヶ所）をマーキングします。ケーブル類を天面から配線する場合は、線材を通す穴位置を決めて天井に穴を開けてください。



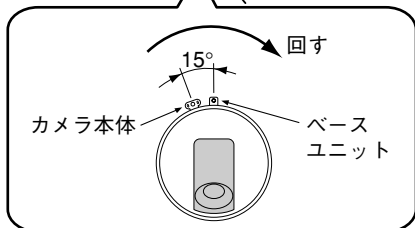
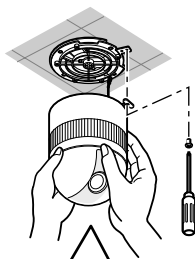
- ④ベースユニットを天井に取り付けます。取付ねじ（M4）は、取付場所に合わせてご用意ください。すぐにカメラを取り付けないときは、ほこりの付着を防止する接点保護シート（付属品）を貼り付けてください。

**重要！**：ケーブル類は、ベースユニットの溝からはみ出さないように配線してください。はみ出したまま取り付け作業を行うと、線材を傷つけ断線や火災の原因となります。



- ⑤カメラ本体に固定されている安全ワイヤーをベースユニットに取り付けます。安全ワイヤーを引いてみて、安全ワイヤーの先端リングが確実にベースユニットのフックにかかっていることを確認してください。接点保護シート（付属品）が貼り付けてあるときは、先にはがしてください。

**重要！**：安全ワイヤーはカメラ本体を吊り下げることを想定し設計されていますので、それ以外の負荷を加えないでください。



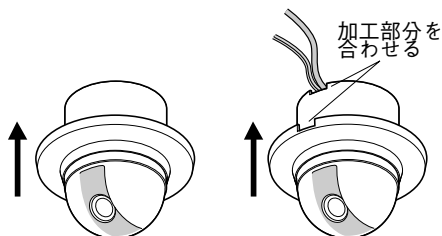
⑥カメラ本体をベースユニットに取り付けます  
ベースユニットにカメラ本体を合わせて奥まで差し込み、矢印の方向に回します。

⑦手順1で外した取付固定ねじで、カメラ本体とベースユニットを固定します

⑧取り付けの確認をします

- ・傾きがなく、きちんと取り付いていること。
- ・ぐらつかないこと。
- ・本体固定部を回してみても回らないこと。

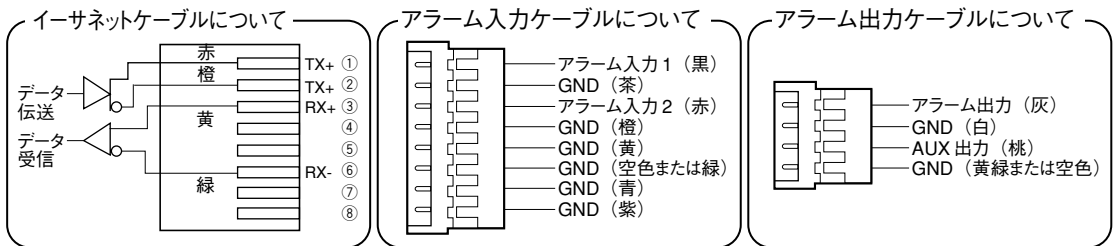
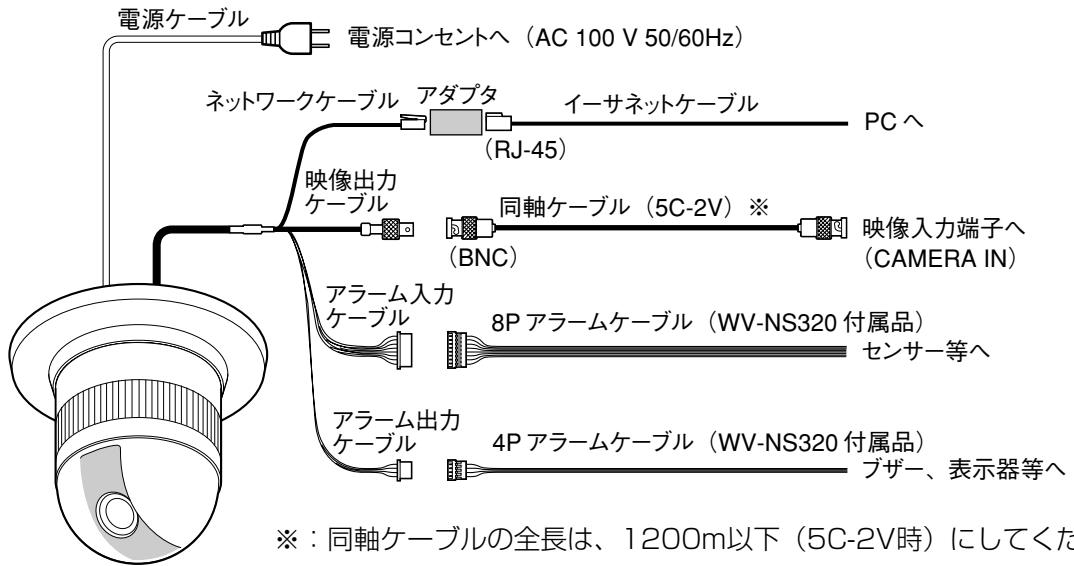
[天面から引き出す場合] [側面から引き出す場合]



⑨飾りカバーを取り付ける

- ・線材を天面から引き出すときは、飾りカバーをそのまま上に持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。
- ・線材を側面から引き出すときは、飾りカバーの加工部分が線材の位置に合うように持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。

# システム機器と接続する



## アラーム入出力の定格

アラーム入力：DC 5 Vプルアップ入力。0.2 mA以上のドライブ能力が必要です。

OFF : DC4 V以上、DC5 V以下またはオープン

ON : DC1 V 以下またはショート

アラーム/AUX出力

: オープンコレクタ出力。ドライブ能力DC16 V、100 mA以下。

OFF : オープン

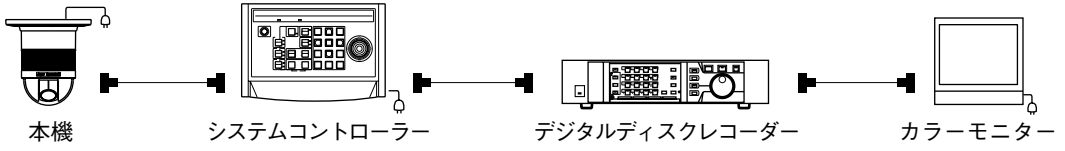
ON : 100 mA以下

※外部機器接続時は、定格を越えないように設置してください。

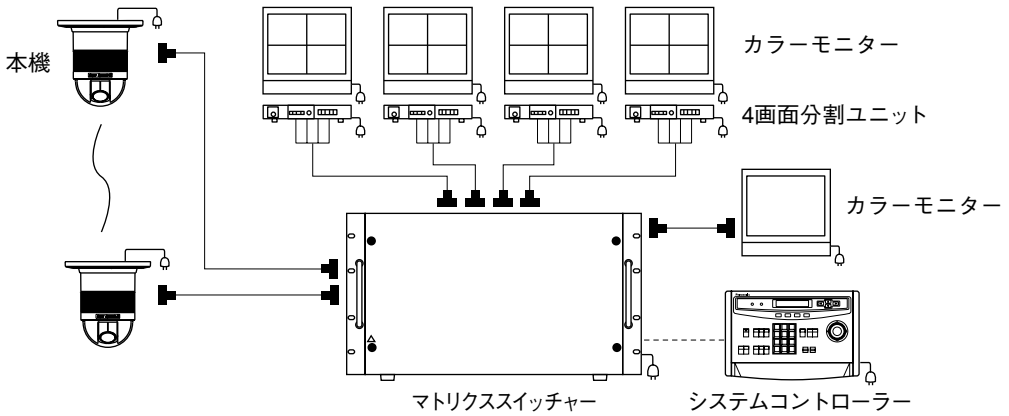
補足：電源投入後、30秒以内に電源の入/切を繰り返すと、PAN / TILT / ZOOM / FOCUSの位置がずれることがあります。



## システム例1



## システム例2





その他

# ショートカット操作について

「カメラ機能」ボタンのあるコントローラーを使用すると、テンキーとカメラ機能ボタン操作で機能の設定をすることができます。(ショートカット操作)

本機で使用できるショートカット操作は次のとおりです。プリセットポジションの移動もプリセット番号をテンキー入力することにより行えますが、下表からは省略しています。

## 補足

- ・プリセットポジションへの移動とAUTO PANのON/OFFを設定するときは、スワローターン機能を「OFF」にしてから行ってください。モニターに「FLIP ON トウロクキンシ」と表示されたら再度設定してください。
- ・レンズ、回転台の動作中は、ショートカット操作を実行できないことがあります。

コントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[6] + [5] + [カメラ機能]	AUTO PAN ON	92
[6] + [6] + [カメラ機能]	AUTO PAN OFF	
[6] + [7] + [カメラ機能]	AUTO PAN回転速度を1段階速くする	
[6] + [8] + [カメラ機能]	AUTO PAN回転速度を1段階遅くする	
[6] + [9] + [カメラ機能]	AUTO PANスタート位置設定	
[7] + [0] + [カメラ機能]	AUTO PANエンド位置設定	
[7] + [4] + [カメラ機能]	AUTO PAN範囲反転	
[8] + [4] + [カメラ機能]	レンズ絞り方法 MANUAL	97
[8] + [5] + [カメラ機能]	レンズ絞り方法 AUTO	
[8] + [6] + [カメラ機能]	オートフォーカス (AF MODE) AUTO	99
[8] + [7] + [カメラ機能]	オートフォーカス (AF MODE) NORMAL	
[8] + [8] + [カメラ機能]	オートフォーカス起動	
[8] + [9] + [カメラ機能]	ホームポジションへ移動	91
[9] + [3] + [カメラ機能]	カメラID (CAMERA ID) ON	97
[9] + [4] + [カメラ機能]	カメラID (CAMERA ID) OFF	
[9] + [8] + [カメラ機能]	電子ズーム (EL-ZOOM) ON	100
[9] + [9] + [カメラ機能]	電子ズーム (EL-ZOOM) OFF	
[1] + [0] + [0] + [カメラ機能]	REFRESH (カメラ位置補正) 機能起動	103
[1] + [0] + [1] + [カメラ機能]	プリセット1の撮影場所を記憶する	86
[1] + [0] + [2] + [カメラ機能]	プリセット2の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [3] + [カメラ機能]	プリセット3の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [4] + [カメラ機能]	プリセット4の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [5] + [カメラ機能]	プリセット5の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [6] + [カメラ機能]	プリセット6の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [7] + [カメラ機能]	プリセット7の撮影場所を記憶する	

# ショートカット操作について

コントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[1] + [0] + [8] + [カメラ機能]	プリセット8の撮影場所を記憶する	86
[1] + [0] + [9] + [カメラ機能]	プリセット9の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [0] + [カメラ機能]	プリセット10の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [1] + [カメラ機能]	プリセット11の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [2] + [カメラ機能]	プリセット12の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [3] + [カメラ機能]	プリセット13の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [4] + [カメラ機能]	プリセット14の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [5] + [カメラ機能]	プリセット15の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [6] + [カメラ機能]	プリセット16の撮影場所を記憶する	
[1] + [6] + [9] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) OPEN	97
[1] + [7] + [0] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) CLOSE	
[1] + [7] + [1] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) ON	97
[1] + [7] + [2] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) OFF	
[1] + [7] + [3] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階速くする	
[1] + [7] + [4] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階遅くする	
[1] + [7] + [5] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) ON	97
[1] + [7] + [6] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) OFF	
[1] + [7] + [7] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX ON	100
[1] + [7] + [8] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX OFF	
[1] + [7] + [9] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (FIX)	
[1] + [8] + [0] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (FIX)	
[1] + [8] + [1] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO ON	
[1] + [8] + [2] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO OFF	
[1] + [8] + [3] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (AUTO)	
[1] + [8] + [4] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (AUTO)	
[1] + [8] + [5] + [カメラ機能]	電源同期位相調節 (FINE) 1段階上げる	98
[1] + [8] + [6] + [カメラ機能]	電源同期位相調節 (FINE) 1段階下げる	
[1] + [8] + [7] + [カメラ機能]	180° ターン (PAN方向)	
[1] + [8] + [8] + [カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) ON	95
[1] + [8] + [9] + [カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) OFF	

# 仕様

## ●基本仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz 消費電力 7 W (通常) / 15 W (最大)
撮像素子	1/4型インターライン転送方式CCD
有効画素数	768 (H) × 494 (V)
走査面積	4.34 (H) × 3.69 (V) mm
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期、多重VD同期、電源同期
走査方式	2 : 1インターレース
走査周波数	水平 : 15.734 kHz、垂直 : 59.94 Hz
映像出力	VBS : 1.0 V [p-p] / 75 Ω (BNCプラグ)
解像度 (中心部にて)	水平 : 480TV本以上 (アナログ出力にて) 垂直 : 350TV本以上 (アナログ出力にて)
最低照度	1.0 lx (AGC HIGH、SENS UP OFF時)
S/N	50 dB以上 (AGC : OFF)
使用温度範囲	-10 °C ~ +50 °C、湿度90 %以下 (結露しないこと)
防水性	JIS 防滴Ⅱ形 (IP52)
寸法	120 (直径) × 191 (高さ) mm (ドーム径 : 110 mm)
質量	約1.5 kg
仕上げ	本体 : アルミダイカスト メラニン焼付塗装 (マンセル5.5Y7.5/0.3近似色) ドーム部 : 透明アクリル樹脂

## ●レンズ部

ズーム比	10倍 (電子ズーム使用時 : 約50倍)
焦点距離	4.2 ~ 42 mm
最大口径比	1 : 1.4 (WIDE) ~ 2.0 (TELE)
至近距離	1.2 m
画角	水平 : 4.9° (TELE) ~ 47° (WIDE)、垂直 : 3.7° (TELE) ~ 36° (WIDE)

## ●回転台部

水平回転範囲	360° エンドレス旋回
水平回転動作	マニュアル、オート、プリセットポジション
水平回転速度※	マニュアル : 約1.0° ~ 100° /s、8段階/64段階 マニュアルポジション、プリセットポジション : 最大約100° /s
垂直回転範囲	固定0° ~ 92° (水平~真下)
垂直回転動作	マニュアル、プリセットポジション
垂直回転速度※	マニュアル : 約1.0° ~ 100° /s、8段階/64段階 プリセットポジション : 最大約100° /s

※回転速度は、使用するコントローラーによって変わります。

# 仕様

## ●ネットワーク部

画像解像度	640×480, 640×240, 320×240, 160×120 ピクセル
画像圧縮方式	JPEG(Super Fine/Fine/Normal/Low)
画像更新速度	Fast/Middle/Slow/Very slow
配信量制御	32 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps, 256 Kbps, 512 Kbps, 1024 Kbps, 2048 Kbps, 制限無し 1K=1024
対応プロトコル	TCP/IP, UDP/IP, HTTP, FTP, SMTP, DNS, DDNS, DHCP, BOOTP, NTP
対応OS	Microsoft® Windows® operating system 98 Second Edition, Windows NT®4.0, 2000, Millennium Edition(ME), Experience(XP)
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.01 Service Pack2, 5.5, 5.5 Service Pack2, 6.0 Netscape® Communicator 4.73, 4.78

## ●主な機能

コントローラーとのI/F	新監視システム同軸多重、10BASE-T/100BASE-TX
制御機能	回転台、レンズ、16プリセットポジション回転動作、ホームポジション
AGC	ON (LOW)/ON (MID)/ON (HIGH)/OFF
タイトル (ID)	ON/OFF (プリセットID、カメラID、エリアタイトル: 英数記号、カタカナ16文字)
ズーム動作速度	マニュアル時 約3.8 s (TELE~WIDE)
フォーカス動作速度	マニュアル時 約3.0 s (FAR~NEAR、ズームTELE端にて)
オートフォーカス	NORMAL/AUTO (PAN、TILT、ZOOM連動)
アイリス (IRIS)	ALC (OPEN/CLOSEの補正可能) /MANUAL
電子シャッター	OFF (1/60)、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
電子感度アップ	最大4倍 (AUTOまたはFIX、出荷時はOFFに設定)
オートモード	OFF/AUTO PAN
オートパンキー	AUTO PAN
スワローターン	ON/OFF
BLC	ON/OFF
モーションディテクター	ON/OFF
アラーム入出力	2入力 (ALARM IN 1、2) 2出力 (ALARM、AUX) DC16 V 100 mA以下
クリーニング	ON/OFF

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…  
まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このコンビネーションカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品名	コンビネーションカメラ
品番	WV-NS320
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に



その他



<b>便利メモ</b> おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-NS320
	販売店名	☎ (      )      -				

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号      電話    フリーダイヤル    0120-878-410